

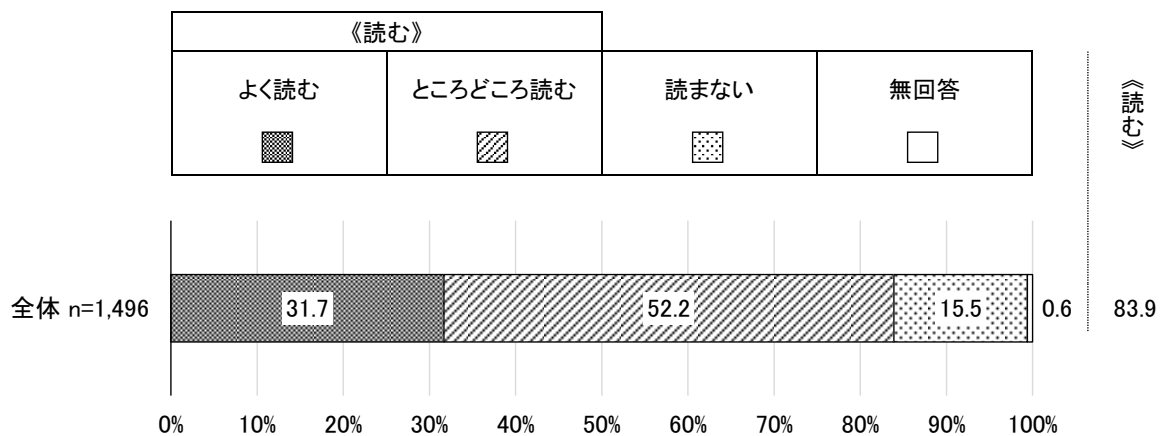
7 市政全般について

(1) 「広報川越」の閲覧状況

◇ 《読む》が83.9%

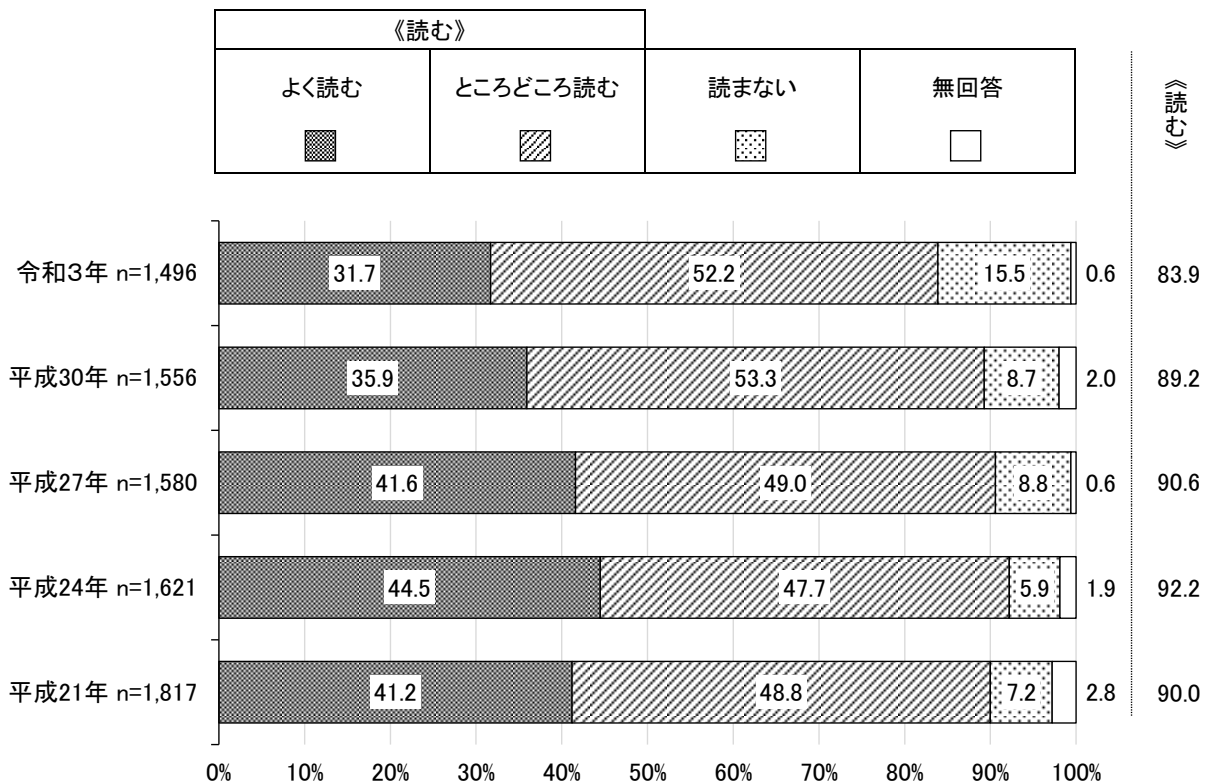
問 54 あなたは、「広報川越」をご覧になりますか。(1つのみ)

「広報川越」の閲覧状況については、「よく読む」、「ところどころ読む」の合計値《読む》が83.9%である一方、「読まない」は15.5%と、《読む》が68.4ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《読む》は前回調査より5.3ポイント減少し、「読まない」は6.8ポイント増加している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「読む」は男性 60 歳代、男性 70 歳以上、女性の 40 歳代から 70 歳以上で 9 割台と高くなっている。一方で、「読まない」は男性 20 歳代で約 5 割と高くなっている。

単位: %	《読む》		読まない	無回答	《読む》 合計値
	よく読む	ところどころ 読む			
全体 n=1,496	31.7	52.2	15.5	0.6	83.9
【性別・年代別】					
男性 n=593	29.0	51.9	18.7	0.3	80.9
男性_18・19歳 n=4	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0
男性_20歳代 n=67	9.0	41.8	49.3	0.0	50.8
男性_30歳代 n=85	17.6	58.8	23.5	0.0	76.4
男性_40歳代 n=121	16.5	57.9	25.6	0.0	74.4
男性_50歳代 n=95	29.5	55.8	14.7	0.0	85.3
男性_60歳代 n=101	38.6	52.5	7.9	1.0	91.1
男性_70歳以上 n=118	53.4	44.1	1.7	0.8	97.5
女性 n=874	33.6	52.4	13.6	0.3	86.0
女性_18・19歳 n=13	0.0	53.8	46.2	0.0	53.8
女性_20歳代 n=109	11.9	42.2	45.9	0.0	54.1
女性_30歳代 n=160	21.3	59.4	18.8	0.6	80.7
女性_40歳代 n=171	32.2	59.6	8.2	0.0	91.8
女性_50歳代 n=110	40.9	50.9	8.2	0.0	91.8
女性_60歳代 n=137	35.8	59.9	4.4	0.0	95.7
女性_70歳以上 n=172	56.4	40.1	2.3	1.2	96.5

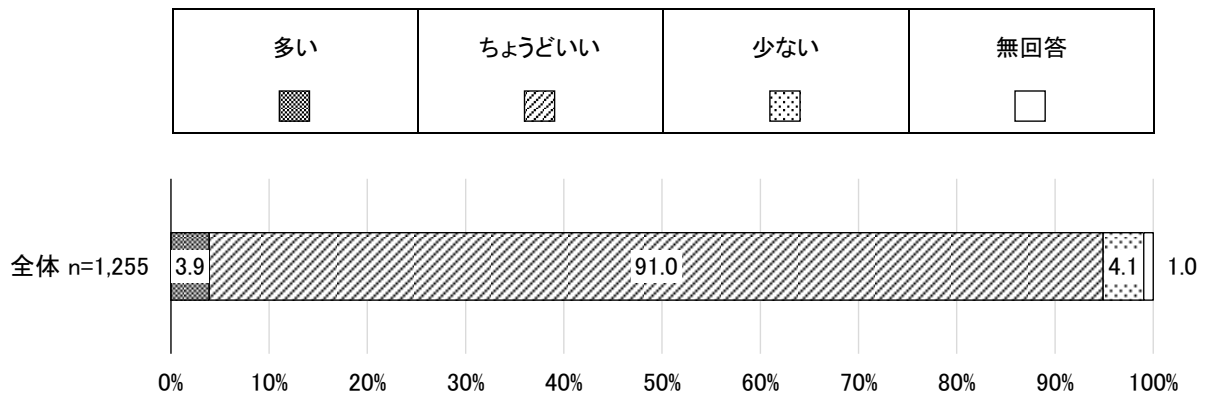
(2) 「広報川越」の情報量

◇「ちょうどいい」が91.0%

【問 54 で「よく読む」「ところどころ読む」と回答した方におたずねします。】

問 54-1 広報川越の情報量（文章量・ページ数）についてどのように思いますか。（1つのみ）

「広報川越」の情報量については、「ちょうどいい」が91.0%で最も高く、次いで「少ない」が4.1%、「多い」が3.9%となっている。



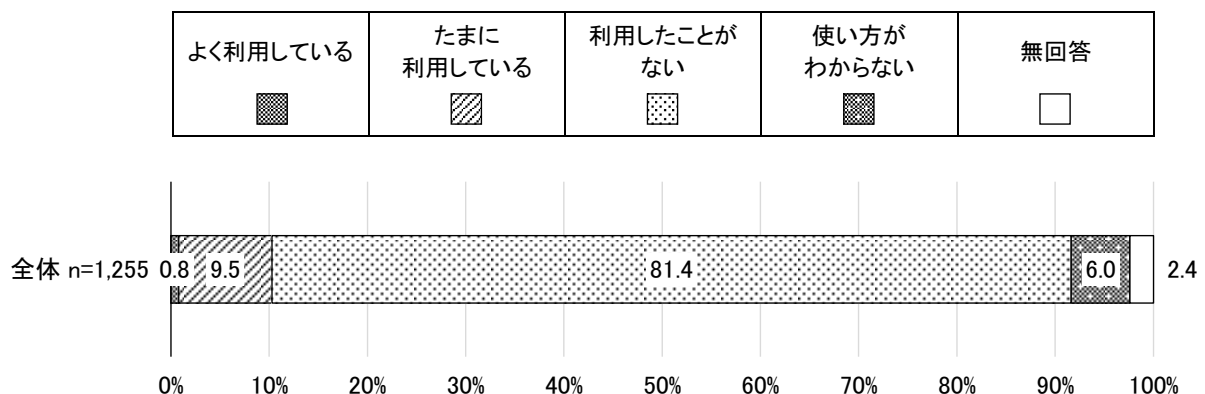
(3) 広報川越に掲載されている2次元コードの利用状況

◇「利用したことがない」が81.4%

【問 54 で「よく読む」「ところどころ読む」と回答した方におたずねします。】

問 54-2 広報川越には、詳細情報を市のホームページで確認できるよう、2次元コードを掲載していますが、利用したことはありますか。（1つのみ）

広報川越に掲載されている2次元コードの利用状況については、「利用したことがない」が81.4%で最も高く、次いで「たまに利用している」が9.5%、「使い方がわからない」が6.0%、「よく利用している」が0.8%となっている。

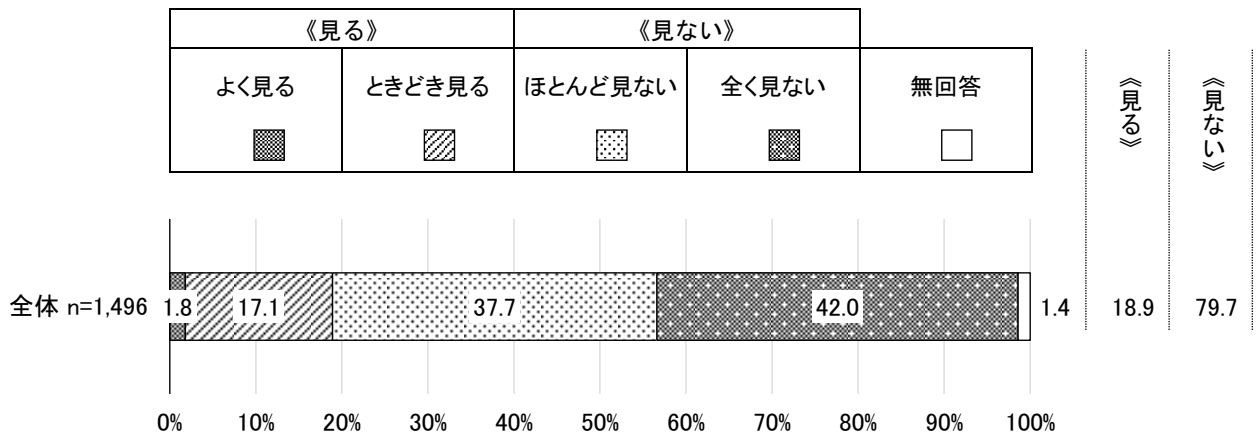


(4) 地域にある掲示板の閲覧状況

◇ 《見る》が18.9%

問 55 あなたは、情報入手するため、掲示板をご覧になることがありますか。(1つのみ)

地域にある掲示板の閲覧状況については、「よく見る」、「ときどき見る」の合計値《見る》が18.9%である一方、「ほとんど見ない」、「全く見ない」の合計値《見ない》は79.7%と、《見ない》が60.8ポイント上回っている。

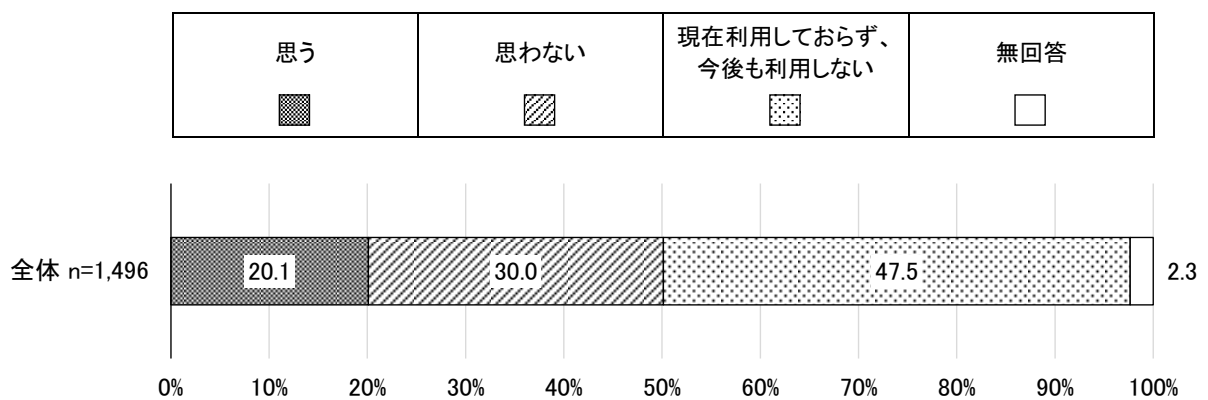


(5) 掲示板の利用意向

◇ 「現在利用しておらず、今後も利用しない」が47.5%

問 56 あなたは、今後、掲示板を利用しようと思いますか。(1つのみ)

掲示板の利用意向については、「現在利用しておらず、今後も利用しない」が47.5%で最も高く、次いで「思わない」が30.0%、「思う」が20.1%となっている。

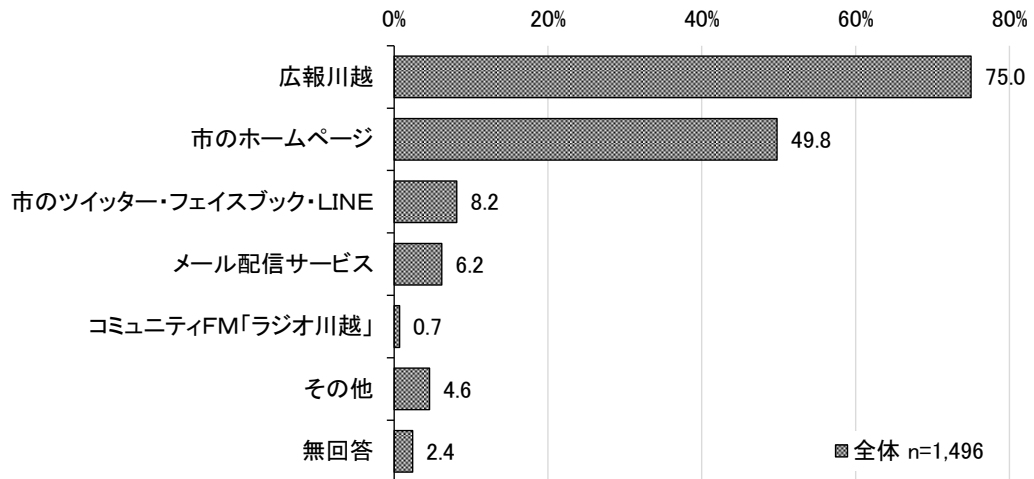


(6) 市の情報の入手方法

◇「広報川越」が75.0%

問 57 あなたは、市の情報をどのような方法で取得していますか。(いくつでも)

市の情報の入手方法については、「広報川越」が75.0%で最も高く、次いで「市のホームページ」が49.8%、「市のツイッター・フェイスブック・LINE」が8.2%、「メール配信サービス」が6.2%となっている。



■性別・年代別

性別・年代別でみると、「広報川越」は男性、女性ともに年代が高くなるほど増加傾向となり、男性70歳以上、女性70歳以上で9割半ばとなっている。「市のホームページ」は男性、女性ともに30歳代、40歳代で6割台と高くなっている。「市のツイッター・フェイスブック・LINE」は女性20歳代で2割を超えて高くなっている。

	広報川越	市のホームページ	市のツイッター・フェイスブック・LINE	メール配信サービス	コミュニティFM「ラジオ川越」	その他
単位：%						
全体 n=1,496	75.0	49.8	8.2	6.2	0.7	4.6
【性別・年代別】						
男性 n=593	72.3	51.3	6.2	4.4	0.8	5.9
男性_18・19歳 n=4	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0
男性_20歳代 n=67	43.3	41.8	10.4	3.0	3.0	13.4
男性_30歳代 n=85	61.2	63.5	12.9	1.2	3.5	5.9
男性_40歳代 n=121	65.3	66.1	11.6	5.8	0.0	7.4
男性_50歳代 n=95	73.7	55.8	2.1	5.3	0.0	7.4
男性_60歳代 n=101	84.2	53.5	2.0	2.0	0.0	1.0
男性_70歳以上 n=118	94.9	27.1	0.0	5.9	0.0	2.5
女性 n=874	77.2	49.2	9.5	7.6	0.7	3.7
女性_18・19歳 n=13	23.1	84.6	7.7	7.7	0.0	7.7
女性_20歳代 n=109	48.6	54.1	21.1	2.8	0.9	6.4
女性_30歳代 n=160	66.3	64.4	13.1	8.8	0.6	5.0
女性_40歳代 n=171	83.6	62.6	14.0	15.8	0.0	2.3
女性_50歳代 n=110	77.3	55.5	10.9	10.0	0.0	4.5
女性_60歳代 n=137	88.3	38.7	0.7	5.1	0.7	2.9
女性_70歳以上 n=172	94.2	20.9	0.6	1.7	1.7	1.7

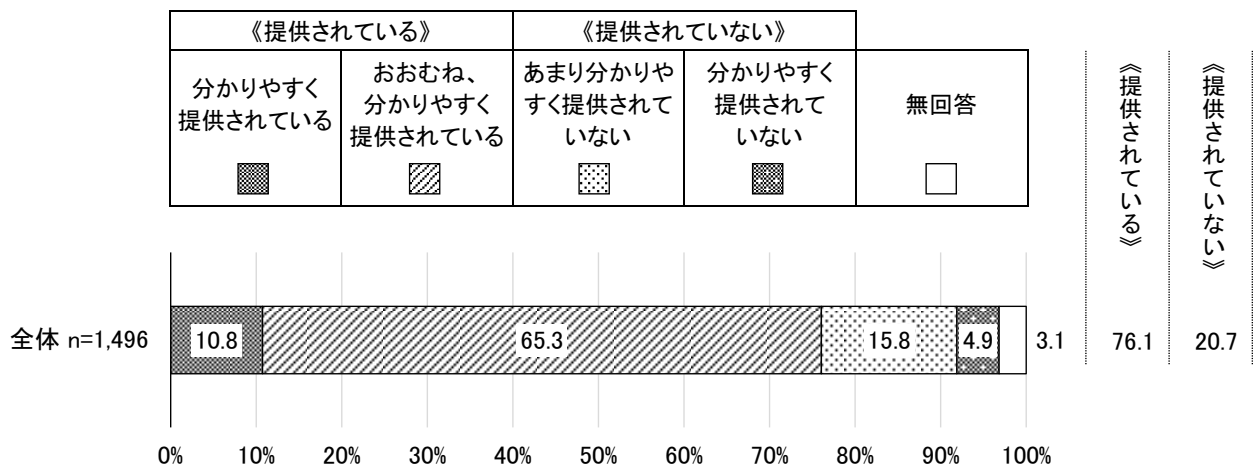
(7) 市の情報提供に対する満足度

◇ 《提供されている》が76.1%

**問 58 あなたは、市の行政に関する情報提供について、分かりやすく提供されていると思いますか。
(1つのみ)**

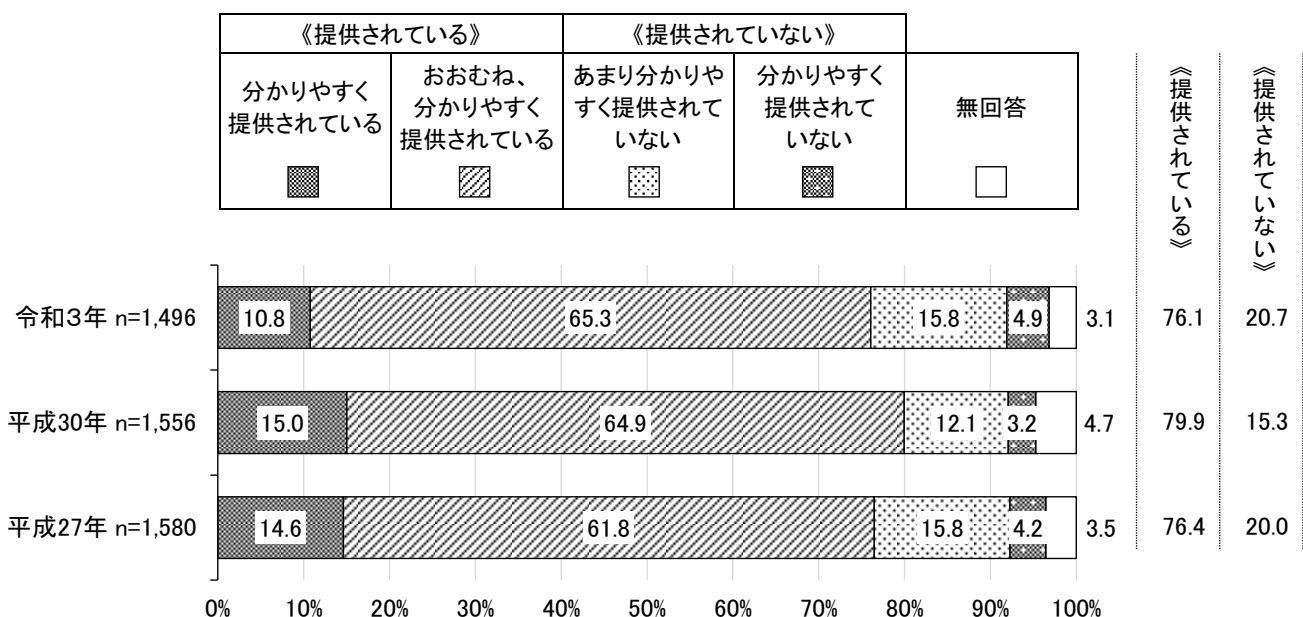
※「情報提供」とは、「広報川越」や市のホームページなどによるお知らせや情報公開制度による公文書の公開などを想定しています。

市の情報提供に対する満足度については、「分かりやすく提供されている」、「おおむね、分かりやすく提供されている」の合計値《提供されている》が76.1%である一方、「あまり分かりやすく提供されていない」、「分かりやすく提供されていない」の合計値《提供されていない》は20.7%と、《提供されている》が55.4ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《提供されている》は前回調査より3.8ポイント減少し、《提供されていない》は5.4ポイント増加している。



■性別・年代別

性別・年代別でみると、《提供されている》は女性の40歳代から70歳以上で8割台と高くなっている。一方で、《提供されていない》は男性20歳代で3割と高くなっている。

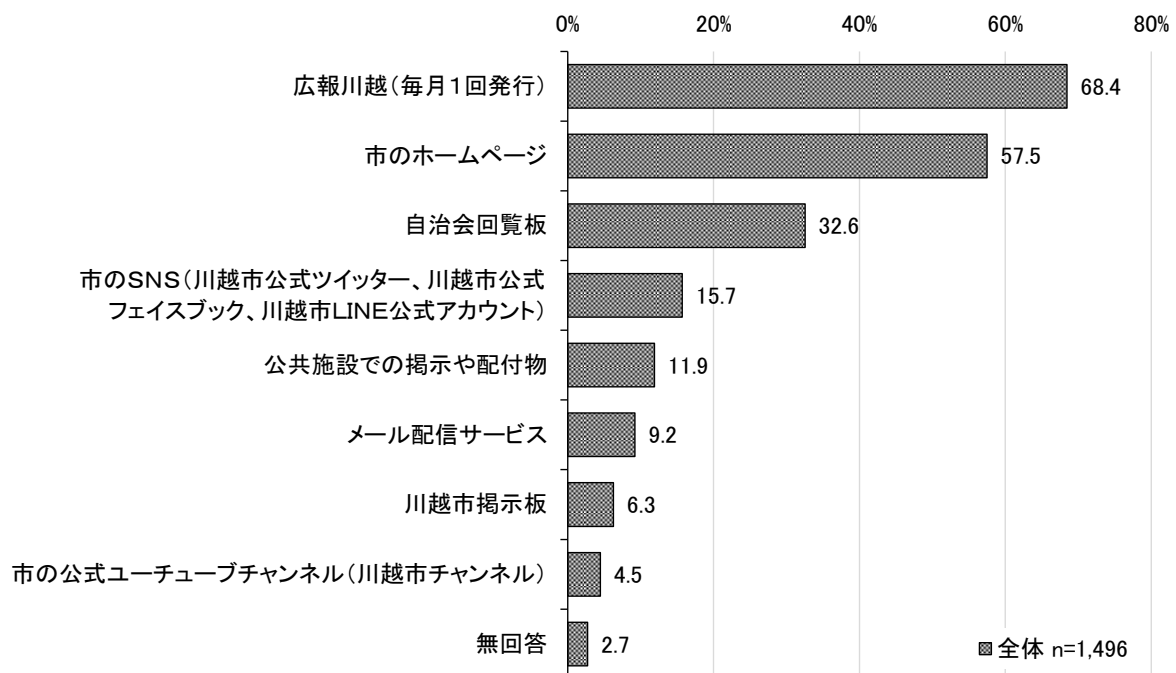
単位: %	《提供されている》		《提供されていない》		無回答	《提供されている》 合計値	《提供されていない》 合計値
	分かりやすく 提供されている	おおむね、分 かりやすく提 供されている	あまり分かり やすく提供さ れていない	分かりやすく 提供されてい ない			
全体 n=1,496	10.8	65.3	15.8	4.9	3.1	76.1	20.7
【性別・年代別】							
男性 n=593	9.3	63.1	18.5	6.2	2.9	72.4	24.7
男性_18・19歳 n=4	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	75.0	25.0
男性_20歳代 n=67	11.9	52.2	19.4	10.4	6.0	64.1	29.8
男性_30歳代 n=85	10.6	57.6	18.8	10.6	2.4	68.2	29.4
男性_40歳代 n=121	9.1	64.5	19.0	6.6	0.8	73.6	25.6
男性_50歳代 n=95	7.4	65.3	21.1	6.3	0.0	72.7	27.4
男性_60歳代 n=101	3.0	67.3	19.8	5.9	4.0	70.3	25.7
男性_70歳以上 n=118	14.4	65.3	15.3	0.0	5.1	79.7	15.3
女性 n=874	11.7	67.8	13.8	4.0	2.6	79.5	17.8
女性_18・19歳 n=13	30.8	61.5	7.7	0.0	0.0	92.3	7.7
女性_20歳代 n=109	9.2	66.1	19.3	3.7	1.8	75.3	23.0
女性_30歳代 n=160	6.9	66.3	20.6	5.0	1.3	73.2	25.6
女性_40歳代 n=171	11.1	69.6	11.1	4.7	3.5	80.7	15.8
女性_50歳代 n=110	16.4	70.0	7.3	2.7	3.6	86.4	10.0
女性_60歳代 n=137	8.8	72.3	12.4	4.4	2.2	81.1	16.8
女性_70歳以上 n=172	16.3	64.5	12.8	2.9	3.5	80.8	15.7

(8) 今後、利用したいと思う情報提供の媒体

◇「広報川越（毎月1回発行）」が68.4%

問 59 市が情報を提供している方法のうち、あなたが今後利用したいと思う方法は何ですか。（いくつでも）

今後、利用したいと思う情報提供の媒体については、「広報川越（毎月1回発行）」が68.4%で最も高く、次いで「市のホームページ」が57.5%、「自治会回覧板」が32.6%、「市のSNS（川越市公式ツイッター、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント）」が15.7%となっている。



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「広報川越（毎月1回発行）」、「自治会回覧板」は、男性、女性ともに年代が高くなるほど増加傾向となっている。「市のホームページ」は男性40歳代、男性50歳代で7割を超えて高くなっている。「市のSNS（川越市公式ツイッター、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント）」は男性30歳代、女性20歳代で3割台と高くなっている。

	広報川越(毎月1回発行)	市のホームページ	自治会回覧板	市のSNS(川越市公式ツイッター、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント)	公共施設での掲示や配付物	メール配信サービス
単位: %						
全体 n=1,496	68.4	57.5	32.6	15.7	11.9	9.2

【性別・年代別】

男性 n=593	64.2	61.4	31.2	14.2	9.9	8.8
男性_18・19歳 n=4	25.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0
男性_20歳代 n=67	40.3	65.7	16.4	23.9	9.0	6.0
男性_30歳代 n=85	47.1	62.4	15.3	30.6	3.5	7.1
男性_40歳代 n=121	51.2	72.7	20.7	17.4	8.3	10.7
男性_50歳代 n=95	73.7	71.6	29.5	7.4	8.4	8.4
男性_60歳代 n=101	76.2	62.4	41.6	10.9	13.9	9.9
男性_70歳以上 n=118	87.3	37.3	54.2	0.8	14.4	8.5

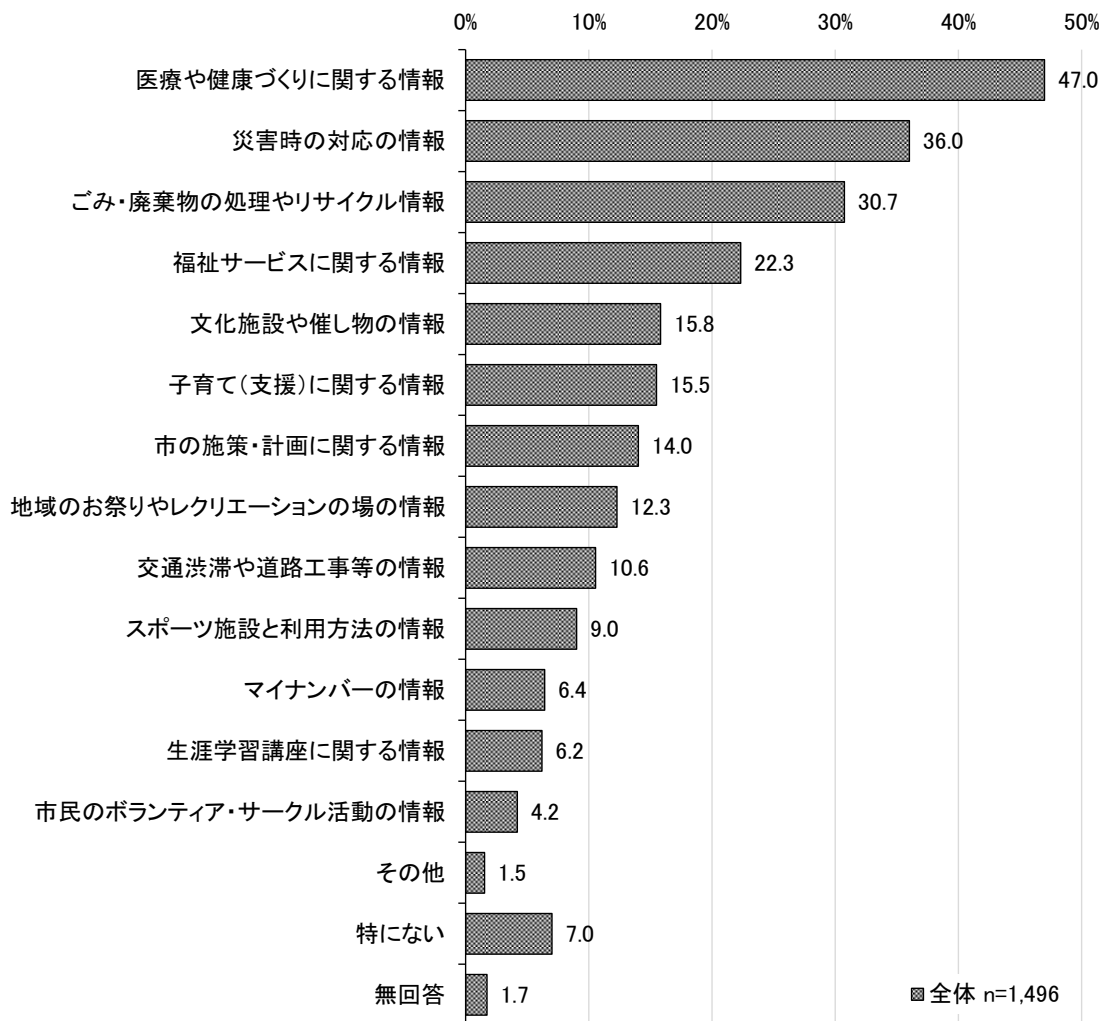
女性 n=874	71.6	55.1	33.8	17.0	13.2	9.6
女性_18・19歳 n=13	30.8	76.9	30.8	30.8	23.1	7.7
女性_20歳代 n=109	39.4	60.6	14.7	31.2	8.3	4.6
女性_30歳代 n=160	61.3	66.9	21.3	28.8	13.1	11.9
女性_40歳代 n=171	73.7	70.2	24.0	22.2	11.7	14.0
女性_50歳代 n=110	70.0	63.6	30.0	18.2	8.2	17.3
女性_60歳代 n=137	86.9	46.7	38.0	2.2	19.0	6.6
女性_70歳以上 n=172	91.3	25.6	65.7	2.3	15.1	4.1

(9) 必要な市の行政情報

◇「医療や健康づくりに関する情報」が47.0%

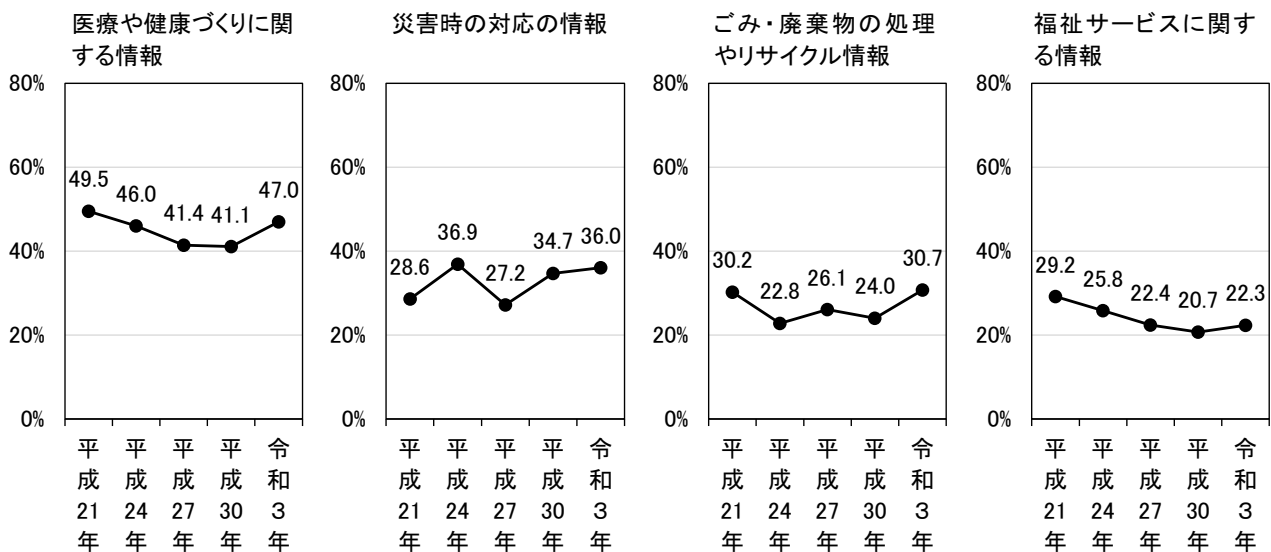
**問 60 あなたが今必要としている市からの情報は何か。
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

必要な市の行政情報については、「医療や健康づくりに関する情報」が47.0%で最も高く、次いで「災害時の対応の情報」が36.0%、「ごみ・廃棄物の処理やリサイクル情報」が30.7%、「福祉サービスに関する情報」が22.3%となっている。



■時系列での比較（上位4項目）

上位4項目を時系列でみると、「医療や健康づくりに関する情報」は平成30年まで減少傾向であったものの、令和3年には増加に転じ、前回調査より5.9ポイント増加している。



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別でみると、「医療や健康づくりに関する情報」は女性70歳以上で6割と高くなっている。「災害時の対応の情報」は男性50歳代、女性の50歳代から70歳以上で4割を超えて高くなっている。「子育て（支援）に関する情報」は女性30歳代で5割を超えて高くなっている。

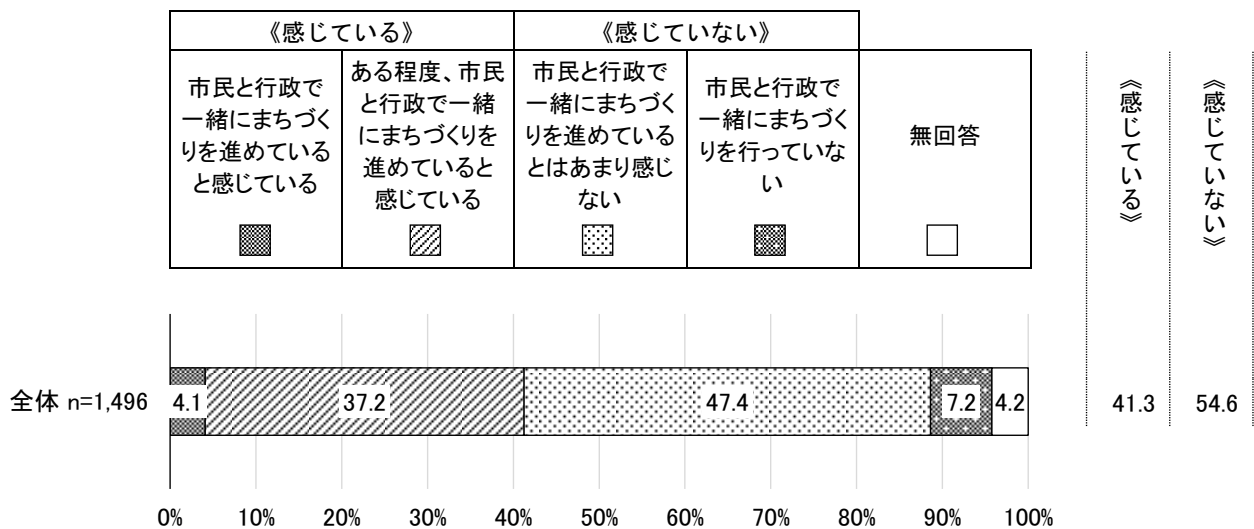
単位: %	医療や健康づくりに関する情報	災害時の対応の情報	ごみ・廃棄物の処理やリサイクル情報	福祉サービスに関する情報	文化施設や催し物の情報	子育て(支援)に関する情報
全体 n=1,496	47.0	36.0	30.7	22.3	15.8	15.5
【性別・年代別】						
男性 n=593	43.3	36.3	29.0	22.1	15.7	11.0
男性_18・19歳 n=4	50.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0
男性_20歳代 n=67	31.3	34.3	22.4	16.4	13.4	7.5
男性_30歳代 n=85	47.1	37.6	24.7	10.6	11.8	32.9
男性_40歳代 n=121	33.1	35.5	37.2	15.7	10.7	20.7
男性_50歳代 n=95	36.8	41.1	26.3	20.0	13.7	5.3
男性_60歳代 n=101	47.5	33.7	24.8	33.7	20.8	1.0
男性_70歳以上 n=118	58.5	34.7	33.9	33.1	22.0	0.8
女性 n=874	49.4	36.2	32.5	22.2	16.0	18.5
女性_18・19歳 n=13	46.2	46.2	23.1	0.0	15.4	7.7
女性_20歳代 n=109	41.3	26.6	22.0	6.4	12.8	21.1
女性_30歳代 n=160	36.3	33.1	35.0	10.0	13.8	51.3
女性_40歳代 n=171	46.8	30.4	30.4	20.5	17.5	28.1
女性_50歳代 n=110	57.3	41.8	42.7	26.4	14.5	3.6
女性_60歳代 n=137	55.5	42.3	31.4	32.8	16.8	1.5
女性_70歳以上 n=172	59.9	41.3	34.3	36.0	19.2	1.2

(10) 市民・行政が協働したまちづくりの実態

◇ 《感じている》が41.3%

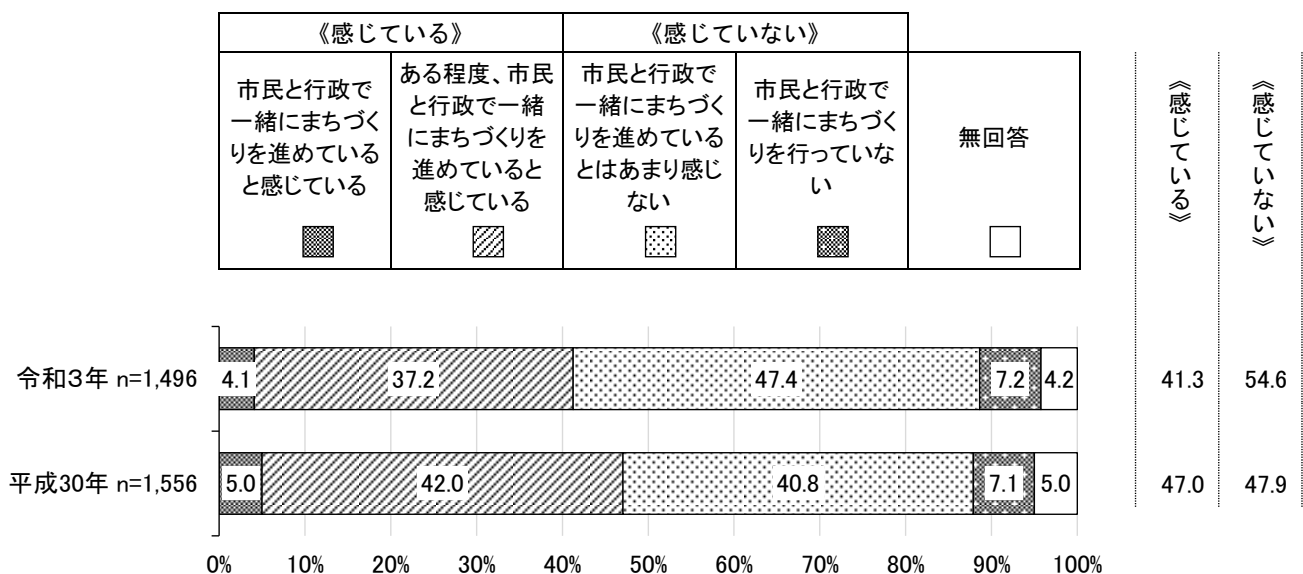
問 61 あなたは、市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じていますか。(1つのみ)

市民・行政が協働したまちづくりの実態については、「市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じている」、「ある程度、市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じている」の合計値《感じている》が41.3%である一方、「市民と行政と一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない」、「市民と行政と一緒にまちづくりを行っていない」の合計値《感じていない》は54.6%と、《感じていない》が13.3ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《感じている》は前回調査より5.7ポイント減少し、《感じていない》は6.7ポイント増加している。



■居住地区別

居住地区別でみると、《感じている》は『山田地区』が49.4%で最も高く、次いで『芳野地区』が48.8%、『古谷地区』が46.6%となっている。一方で、《感じていない》は『霞ヶ関北地区』が66.7%で最も高く、次いで『川鶴地区』が61.3%、『高階地区』が59.3%となっている。

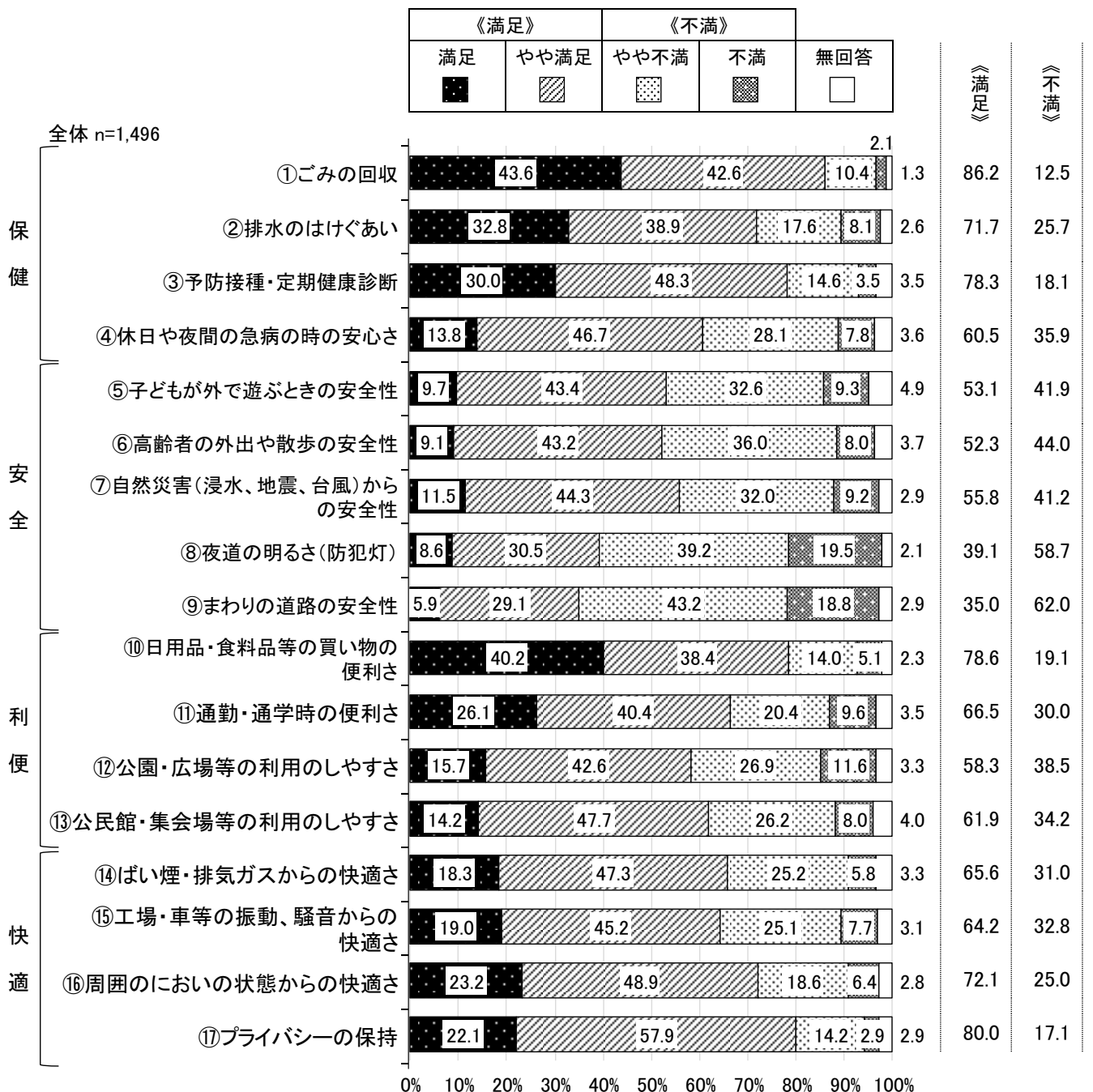
単位：%	《感じている》		《感じていない》		無回答	《感じている》 合計値	《感じていない》 合計値	
	市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている	ある程度、市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じている	市民と行政で一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない	市民と行政で一緒にまちづくりを行っていない				
全体 n=1,496	4.1	37.2	47.4	7.2	4.2	41.3	54.6	
【居住地区別】								
本庁地区 n=316	4.4	37.7	50.6	5.1	2.2	42.1	55.7	
芳野地区 n=41	4.9	43.9	39.0	7.3	4.9	48.8	46.3	
古谷地区 n=58	5.2	41.4	43.1	5.2	5.2	46.6	48.3	
南古谷地区 n=135	3.0	40.0	47.4	7.4	2.2	43.0	54.8	
高階地区 n=189	4.8	33.9	51.9	7.4	2.1	38.7	59.3	
福原地区 n=78	3.8	35.9	41.0	12.8	6.4	39.7	53.8	
大東地区 n=139	5.0	36.7	45.3	8.6	4.3	41.7	53.9	
霞ヶ関地区 n=175	1.7	38.3	49.1	6.9	4.0	40.0	56.0	
川鶴地区 n=75	4.0	30.7	57.3	4.0	4.0	34.7	61.3	
霞ヶ関北地区 n=48	2.1	31.3	64.6	2.1	0.0	33.4	66.7	
名細地区 n=100	4.0	40.0	44.0	9.0	3.0	44.0	53.0	
山田地区 n=77	3.9	45.5	36.4	6.5	7.8	49.4	42.9	

(11) 地域の生活環境の満足度

◇17項目中15項目で《満足》が《不満》を上回っている

問 62 あなたの住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。
 ※①から⑰のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

地域の生活環境の満足度について、「満足」、「やや満足」の合計値《満足》は、“保健の分野”では『ごみの回収』が86.2%、“安全の分野”では『⑦自然災害(浸水、地震、台風)からの安全性』が55.8%、“利便の分野”では『⑩日用品・食料品等の買い物の便利さ』が78.6%、“快適の分野”では『⑰プライバシーの保持』が80.0%で最も高くなっている。一方で、「やや不満」、「不満」の合計値《不満》は、“安全の分野”の『⑨まわりの道路の安全性』が62.0%で最も高く、次いで同じく“安全の分野”の『⑧夜道の明るさ(防犯灯)』が58.7%となっており、この2項目のみ《不満》が《満足》を上回っている。



■居住地区別 地域の生活環境の満足度（評価点）

この質問では、項目間の比較を簡単にするため、下式のように5段階評価を与えて、各項目の評価点を算出した。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点}) + (\text{「やや満足」} \times 1 \text{点}) + (\text{「やや不満」} \times (-1 \text{点})) + (\text{「不満」} \times (-2 \text{点}))}{\text{回答者数} - \text{無回答}}$$

この算出方法では、評価点は-2.00点～+2.00点の間に分布し、0.00点が中間点であり、+2.00点に近いほど評価が良く、逆に-2.00点に近いほど評価が悪いことになる。

評価点を居住地区別にみると、“保健の分野”では、各項目ともすべての居住地区で評価点が0.00以上となっている。

“安全の分野”では、『⑧夜道の明るさ（防犯灯）』の評価点が0.00以上は本庁地区、川鶴地区となっている。特に古谷地区の評価点が低く-0.84となっている。

『⑨まわりの道路の安全性』の評価点が0.00以上は川鶴地区のみとなっている。特に古谷地区の評価点が低く-0.74となっている。

“利便の分野”では、『⑩日用品・食料品等の買物の便利さ』、『⑪通勤・通学時の便利さ』は芳野地区、古谷地区を除く10地区で評価点が0.00以上となっている。なお、評価点の最高と最低の差をみると、『⑩日用品・食料品等の買物の便利さ』が1.82、『⑪通勤・通学時の便利さ』が2.14と、他の項目と比べて差が大きくなっている。

『⑫公園の広場等の利用のしやすさ』は福原地区、山田地区を除く10地区で評価点が0.00以上となっている。

『⑬公民館・集会場等の利用のしやすさ』はすべての居住地区で評価点が0.00以上となっている。

“快適の分野”では、各項目ともすべての居住地区で評価点が0.00以上となっている。

①から⑰までの評価点の平均値である総合評価点で、すべての地区で評価点が0.00以上となっており、最も評価点が高いのは川鶴地区で0.77、最も評価点が高いのは古谷地区で0.08となっている。

Ⅲ 調査結果の分析

項目	地区	市全体	地区												評価点の 最高と最低の 差
			本庁地区	芳野地区	古谷地区	南古谷地区	高階地区	福原地区	大東地区	霞ヶ関地区	川鶴地区	霞ヶ関北地区	名細地区	山田地区	
保健	①ごみの回収	1.17	1.23	1.15	1.11	1.05	1.12	1.06	1.26	1.39	1.26	1.00	1.14	1.13	0.39
	②排水のはけぐあい	0.73	1.10	0.67	0.51	0.39	0.56	0.38	0.74	0.71	1.00	0.60	1.01	0.23	0.87
	③予防接種・定期健康診断	0.90	1.01	1.13	0.55	0.85	0.70	0.73	0.92	1.01	1.15	0.77	1.00	0.82	0.60
	④休日や夜間の急病の時の安心さ	0.32	0.46	0.79	0.25	0.42	0.30	0.31	0.14	0.20	0.34	0.11	0.16	0.36	0.69
安全	⑤子どもが外で遊ぶときの安全性	0.12	-0.04	0.36	0.22	0.22	-0.06	0.05	0.08	0.36	0.60	0.25	0.20	-0.09	0.69
	⑥高齢者の外出や散歩の安全性	0.10	0.04	0.33	0.02	0.19	-0.09	-0.21	0.12	0.21	0.52	0.33	0.19	-0.09	0.73
	⑦自然災害(浸水、地震、台風)からの安全性	0.17	0.42	0.23	-0.46	-0.30	0.03	0.16	0.39	0.36	0.73	0.17	0.15	-0.34	1.20
	⑧夜道の明るさ(防犯灯)	-0.31	0.00	-0.58	-0.84	-0.63	-0.33	-0.47	-0.55	-0.27	0.10	-0.02	-0.16	-0.51	0.94
	⑨まわりの道路の安全性	-0.41	-0.24	-0.56	-0.74	-0.50	-0.59	-0.65	-0.61	-0.25	0.03	-0.11	-0.26	-0.68	0.77
利便	⑩日用品・食料品等の買い物の便利さ	0.97	1.49	-0.33	-0.04	1.11	0.91	0.74	0.87	1.01	1.21	1.35	0.50	0.67	1.82
	⑪通勤・通学時の便利さ	0.55	1.20	-0.95	-0.55	0.33	0.64	0.03	0.47	0.54	0.63	0.89	0.41	0.04	2.14
	⑫公園・広場等の利用のしやすさ	0.25	0.25	0.18	0.15	0.18	0.20	-0.29	0.31	0.44	0.86	0.38	0.34	-0.30	1.16
	⑬公民館・集会場等の利用のしやすさ	0.35	0.36	0.45	0.16	0.32	0.33	0.17	0.38	0.45	0.77	0.24	0.37	0.20	0.61
快適	⑭ばい煙・排気ガスからの快適さ	0.49	0.38	0.38	0.20	0.55	0.58	0.55	0.39	0.51	1.00	0.65	0.62	0.20	0.80
	⑮工場・車等の振動、騒音からの快適さ	0.44	0.41	0.28	0.09	0.51	0.65	0.47	0.20	0.49	0.83	0.44	0.65	0.12	0.75
	⑯周囲のにおいの状態からの快適さ	0.66	0.79	0.15	0.25	0.65	0.85	0.46	0.55	0.68	1.00	0.72	0.71	0.22	0.85
	⑰プライバシーの保持	0.85	0.84	0.93	0.52	0.85	0.81	0.81	0.85	0.92	1.10	0.93	0.99	0.62	0.58
総合評価点		0.43	0.57	0.27	0.08	0.36	0.39	0.25	0.38	0.52	0.77	0.51	0.47	0.15	0.69

※  は、評価点の最高値、 は、評価点の最低値。

※総合評価点は各項目の評価点の平均値。

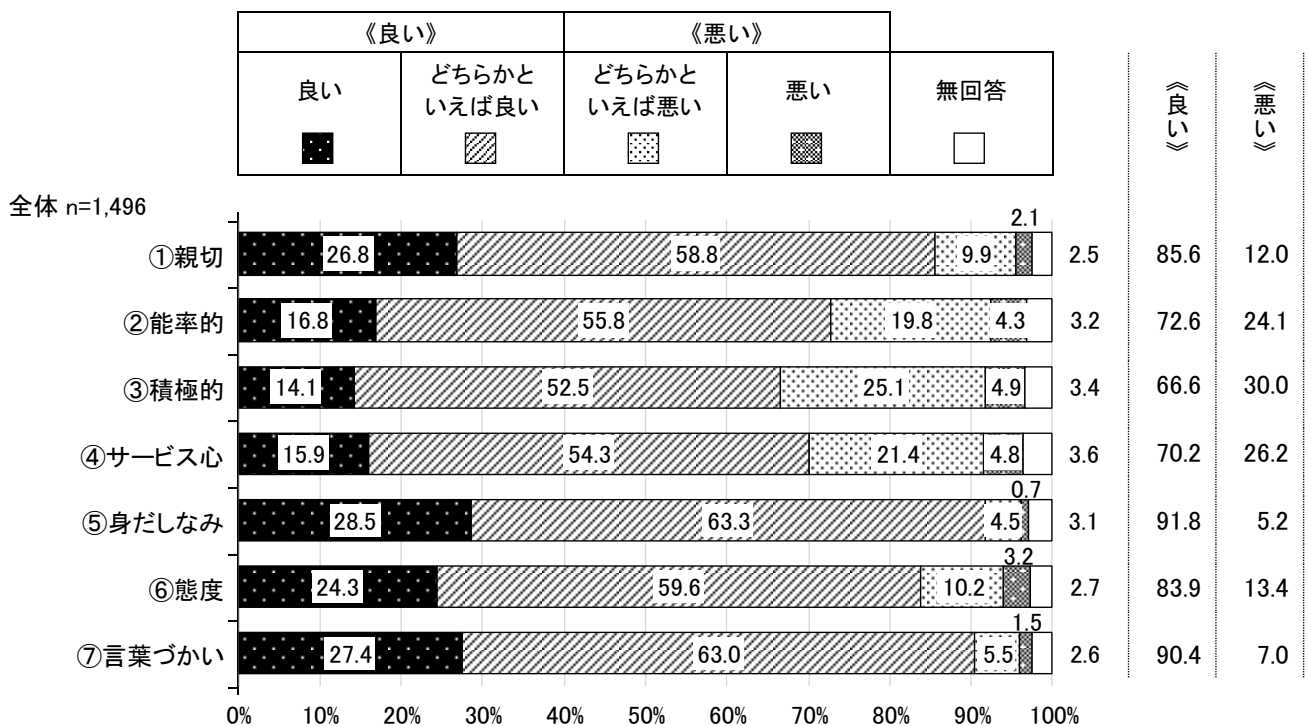
(12) 市職員へのイメージ

◇ 《良い》:「身だしなみ」が91.8%

問 63 市役所職員のイメージについてどう思いますか。それぞれのイメージについて評価してください。

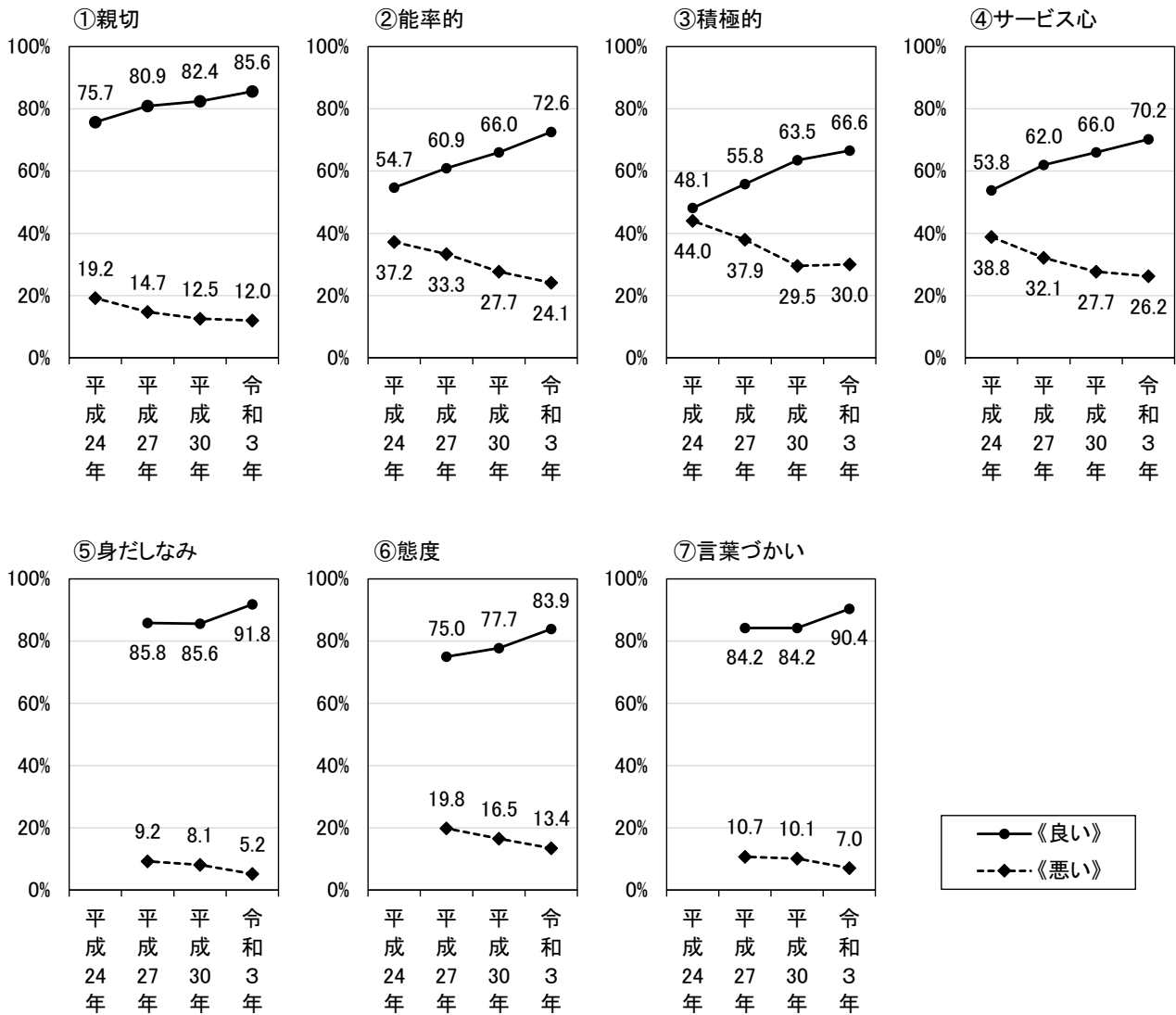
※①から⑦のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

市職員へのイメージについて、「良い」、「どちらかといえば良い」の合計値《良い》は、『⑤身だしなみ』が91.8%で最も高く、次いで『⑦言葉づかい』が90.4%、『①親切』が85.6%となっている。一方で、「どちらかといえば悪い」、「悪い」の合計値《悪い》は、『③積極的』が30.0%で最も高く、次いで『④サービス心』が26.2%、『②能率的』が24.1%となっている。



■時系列での比較

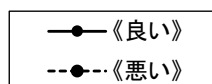
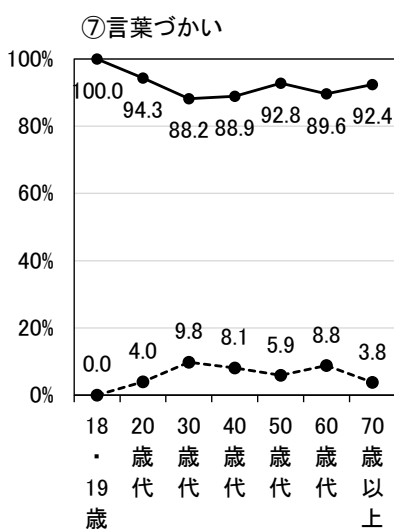
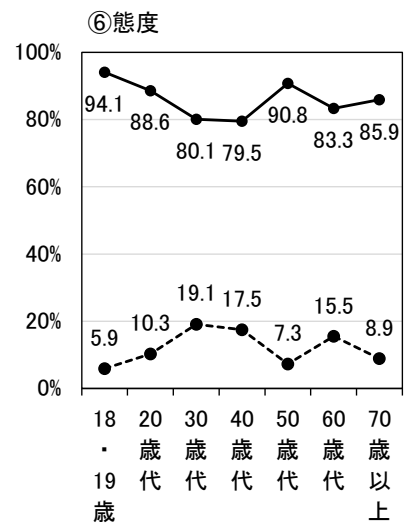
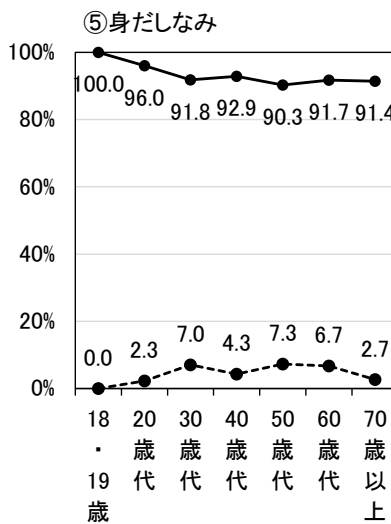
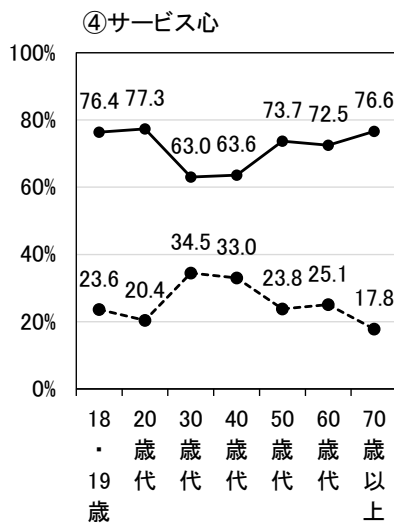
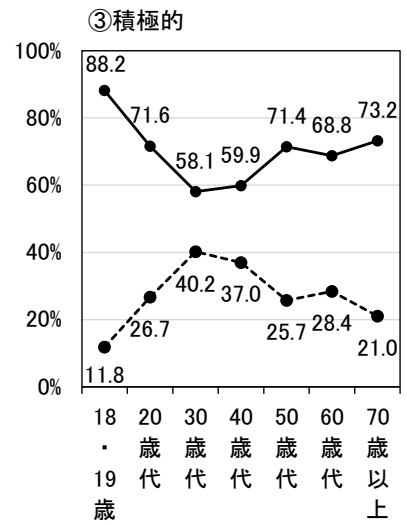
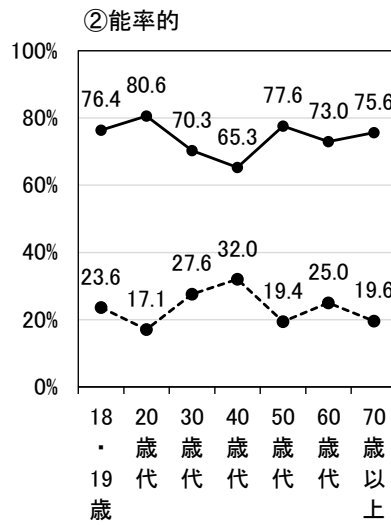
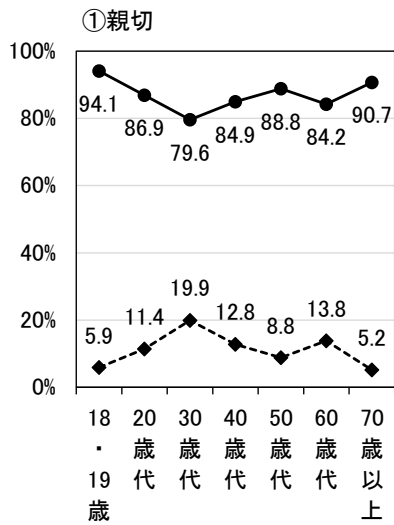
時系列で《良い》をみると、すべての項目で前回調査より増加している。



※「⑤身だしなみ」、「⑥態度」、「⑦言葉づかい」は、平成27年から追加された選択肢。

■年代別

年代別で《良い》をみると、『⑤身だしなみ』はすべての年代で9割台となっている。

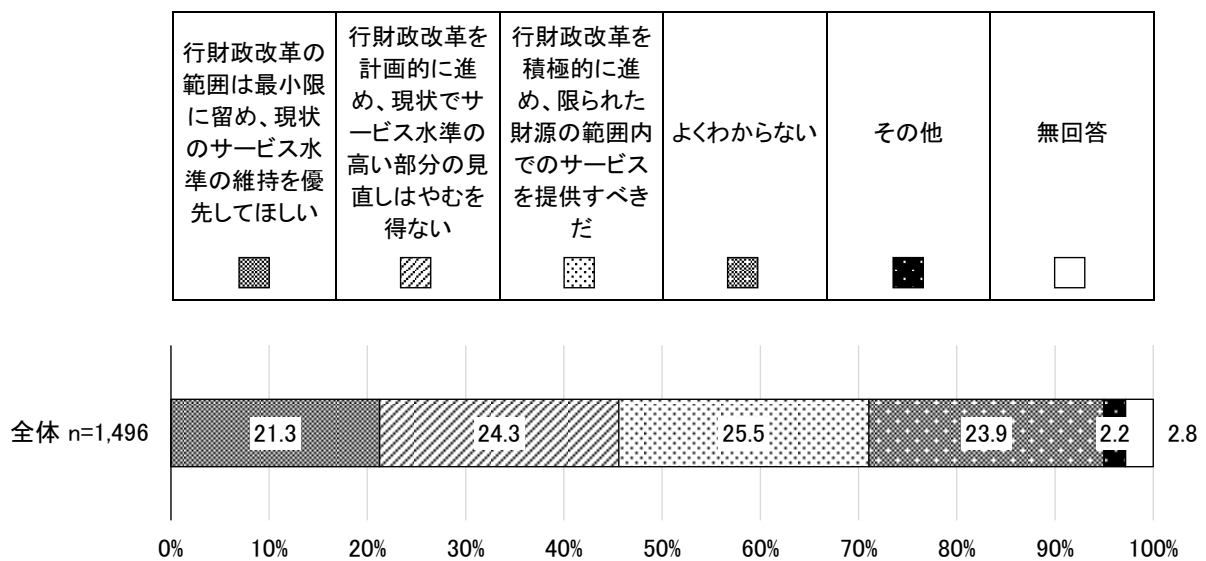


(13) 行財政改革と行政サービスのあり方

◇「行財政改革を積極的に進め、限られた財源の範囲内のサービスを提供すべきだ」が 25.5%

問 64 持続可能な行財政運営を行うため、行財政改革と行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。(1つのみ)

行財政改革と行政サービスのあり方については、「行財政改革を積極的に進め、限られた財源の範囲内のサービスを提供すべきだ」が 25.5%で最も高く、次いで「行財政改革を計画的に進め、現状でサービス水準の高い部分の見直しはやむを得ない」が 24.3%、「行財政改革の範囲は最小限に留め、現状のサービス水準の維持を優先してほしい」が 21.3%となっている。なお、「よくわからない」は 23.9%となっている。

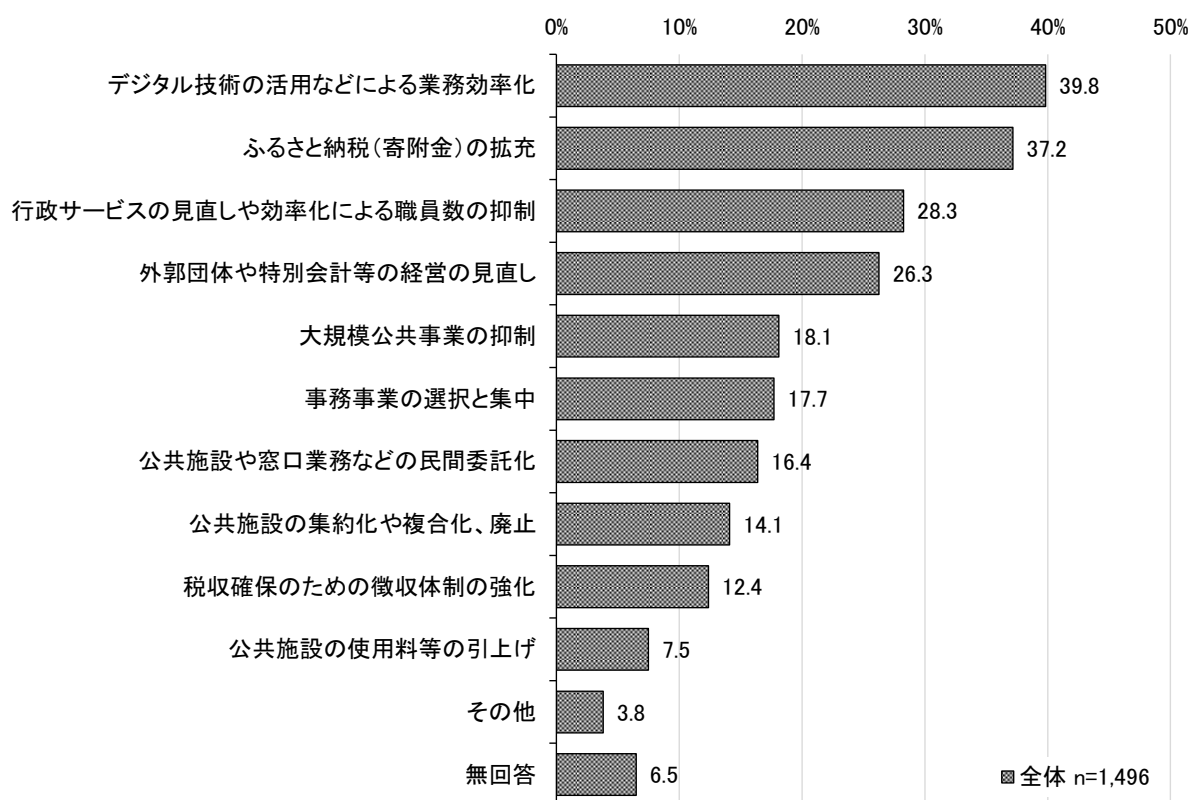


(14) 行財政改革の推進のために必要な取組

◇「デジタル技術の活用などによる業務効率化」が39.8%

問 65 川越市が行財政改革を推進する上で、あなたが重点的に取り組む必要があると思うものは何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)

行財政改革の推進のために必要な取組については、「デジタル技術の活用などによる業務効率化」が39.8%で最も高く、次いで「ふるさと納税（寄附金）の拡充」が37.2%、「行政サービスの見直しや効率化による職員数の抑制」が28.3%、「外郭団体や特別会計等の経営の見直し」が26.3%となっている。



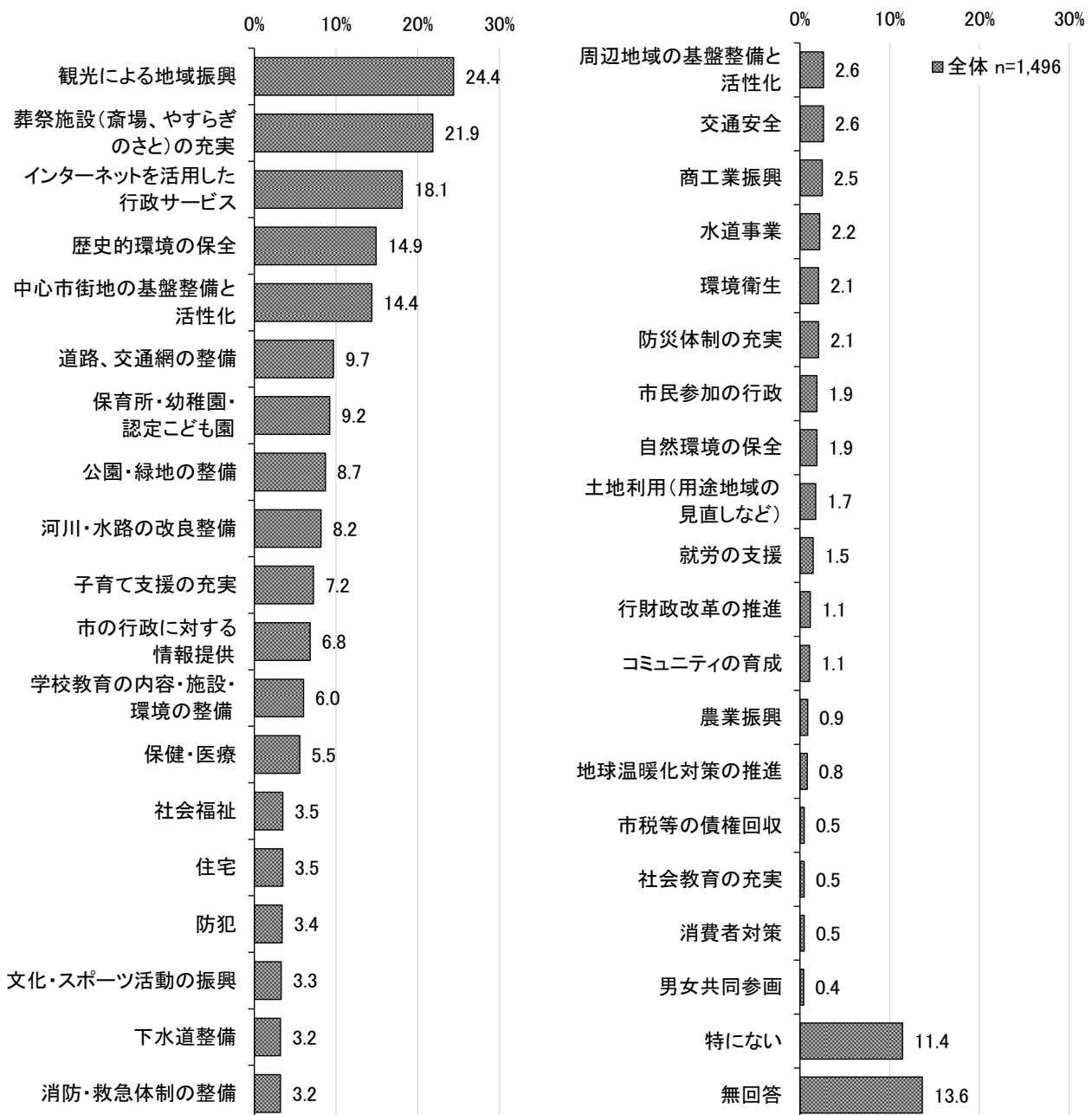
(15) よくなってきた市の施策／力を入れるべき市の施策

◇よくなってきた市の施策：「観光による地域振興」が24.4%
 ◇力を入れるべき市の施策：「道路、交通網の整備」が20.3%

問 66 市政全般について、「よくなってきた施策」、また、「力を入れるべき施策」をそれぞれ3つずつ選んで回答欄に番号を記入してください。

■ よくなってきた施策

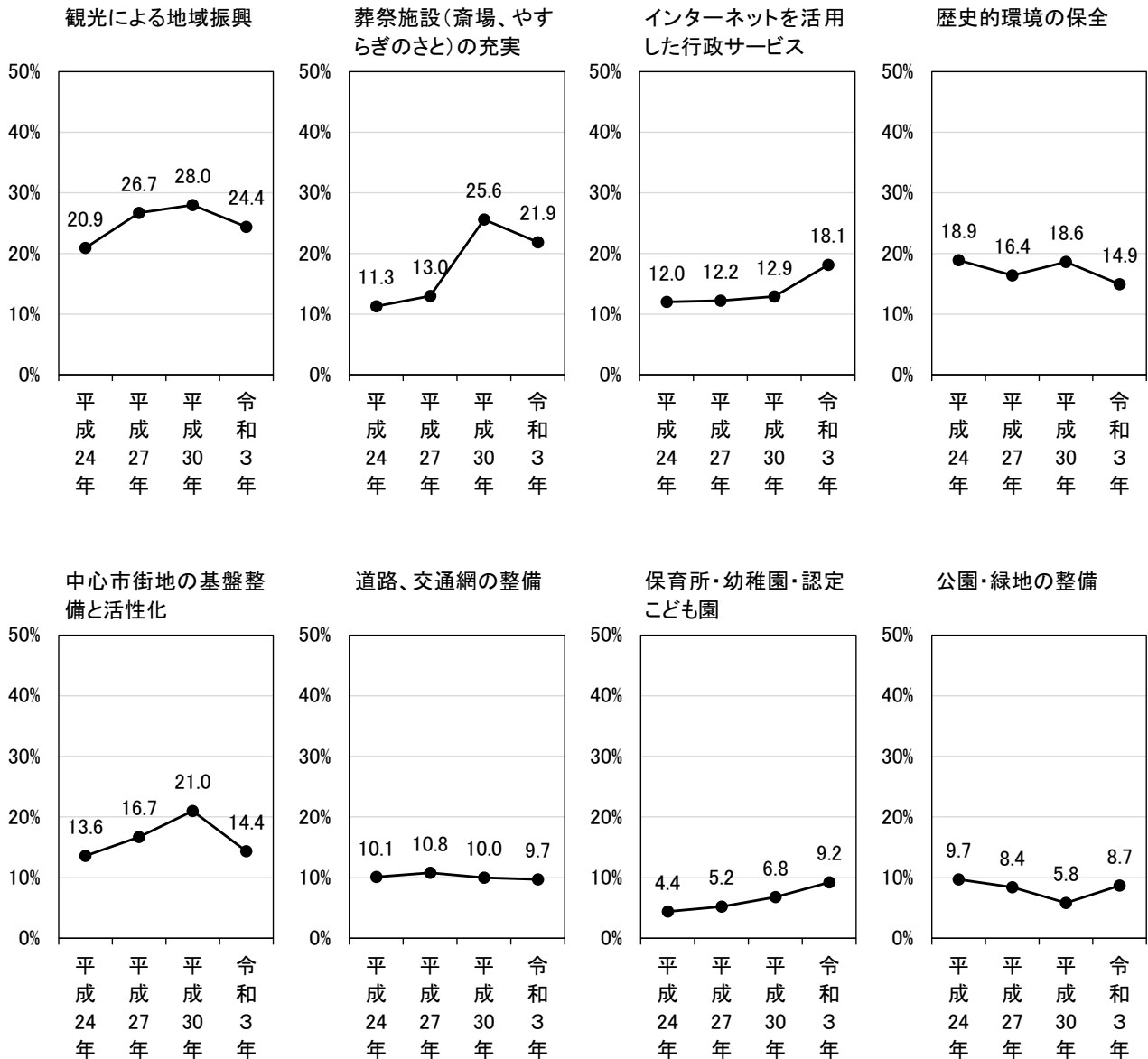
よくなってきた市の施策については、「観光による地域振興」が24.4%で最も高く、次いで「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」が21.9%、「インターネットを活用した行政サービス」が18.1%、「歴史的環境の保全」が14.9%となっている。



■時系列での比較（上位8項目）

上位8項目を時系列で見ると、「インターネットを活用した行政サービス」、「保育所・幼稚園・認定こども園」は増加傾向となっている。

「観光による地域振興」、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」、「中心市街地の基盤整備と活性化」は平成30年まで増加傾向であったものの、令和3年には減少傾向に転じている。



■居住地区別（上位5位）

居住地区別に上位5位の項目をみると、「観光による地域振興」が1位となっている居住地区が多く、『本庁地区』、『大東地区』、『霞ヶ関地区』、『川鶴地区』、『霞ヶ関北地区』、『名細地区』、『山田地区』の7地区で1位となっている。

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,496		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全	中心市街地の基盤整備と活性化
		24.4%	21.9%	18.1%	14.9%	14.4%
【居住地区別】						
本庁地区 n=316		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	歴史的環境の保全	インターネットを活用した行政サービス／中心市街地の基盤整備と活性化	
		32.3%	26.9%	24.4%	20.3%	
芳野地区 n=41		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	歴史的環境の保全	観光による地域振興	中心市街地の基盤整備と活性化	インターネットを活用した行政サービス／保育所・幼稚園・認定こども園／公園・緑地の整備
		29.3%	22.0%	19.5%	14.6%	12.2%
古谷地区 n=58		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	観光による地域振興／中心市街地の基盤整備と活性化		歴史的環境の保全／保育所・幼稚園・認定こども園	
		31.0%	20.7%		15.5%	
南古谷地区 n=135		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	インターネットを活用した行政サービス	観光による地域振興	保育所・幼稚園・認定こども園	道路、交通網の整備
		27.4%	23.0%	20.0%	17.0%	12.6%
高階地区 n=189		インターネットを活用した行政サービス	観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	歴史的環境の保全／中心市街地の基盤整備と活性化／河川・水路の改良整備	
		20.6%	18.5%	18.0%	12.7%	
福原地区 n=78		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	観光による地域振興／河川・水路の改良整備		インターネットを活用した行政サービス	市の行政に対する情報提供
		17.9%	15.4%		12.8%	11.5%
大東地区 n=139		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全	公園・緑地の整備
		25.9%	18.0%	15.8%	12.2%	11.5%
霞ヶ関地区 n=175		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	歴史的環境の保全	中心市街地の基盤整備と活性化
		21.7%	20.0%	19.4%	13.1%	12.0%
川鶴地区 n=75		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	中心市街地の基盤整備と活性化	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全
		22.7%	20.0%	17.3%	16.0%	13.3%
霞ヶ関北地区 n=48		観光による地域振興	中心市街地の基盤整備と活性化	インターネットを活用した行政サービス	河川・水路の改良整備	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実
		33.3%	20.8%	18.8%	16.7%	14.6%
名細地区 n=100		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	インターネットを活用した行政サービス／中心市街地の基盤整備と活性化		歴史的環境の保全
		33.0%	20.0%	19.0%		14.0%
山田地区 n=77		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全／中心市街地の基盤整備と活性化／道路、交通網の整備	
		29.9%	24.7%	22.1%	14.3%	

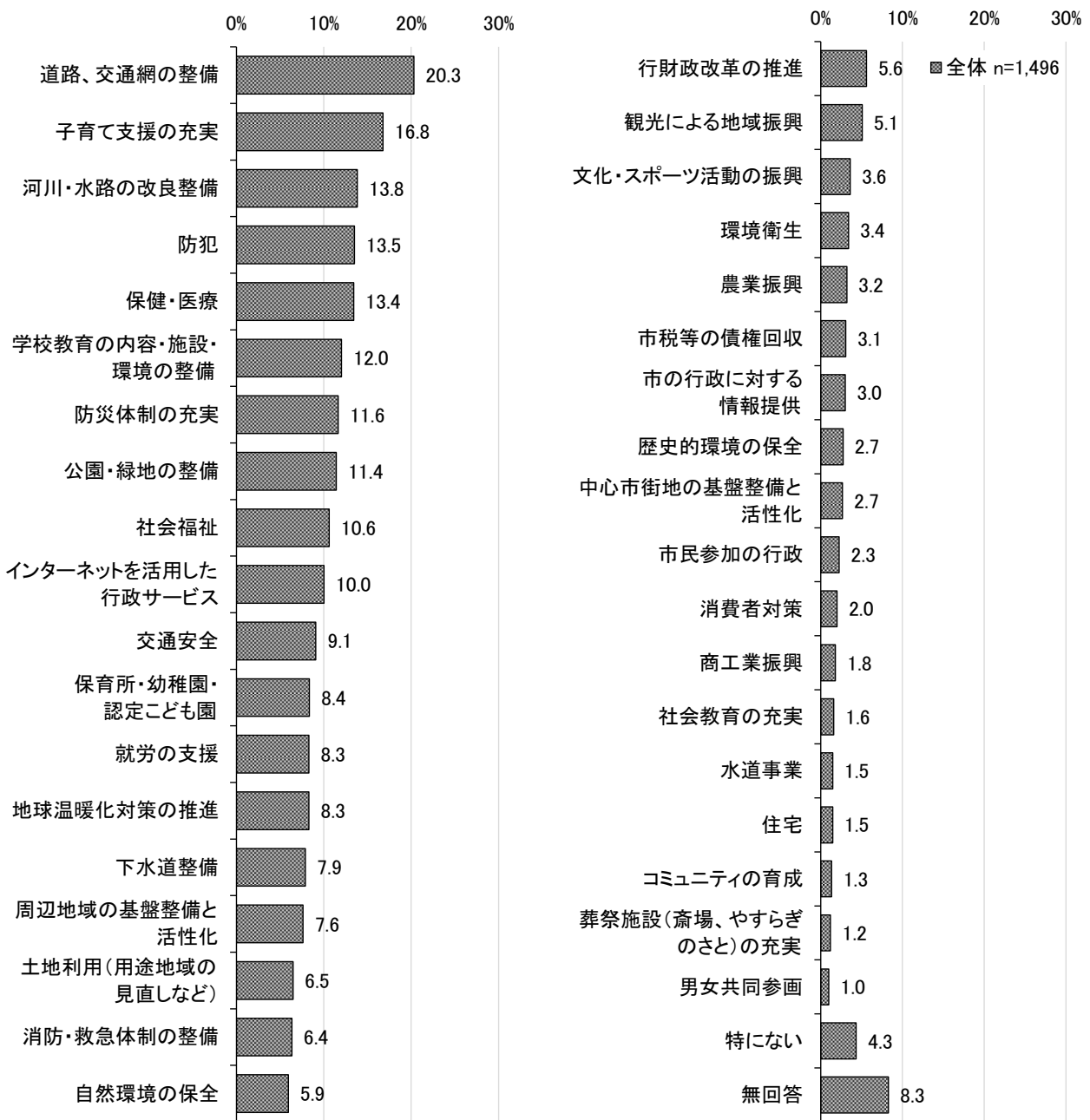
■性別・年代別（上位5位）

性別・年代別に上位5位の項目をみると、男性20歳代、男性40歳代、男性50歳代、女性の20歳代から40歳代では「観光による地域振興」が1位となっている。一方で、年代が高くなると、男性60歳代、男性70歳以上、女性の50歳代から70歳以上では「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」が1位となっている。

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,496		観光による地域振興 24.4%	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 21.9%	インターネットを活用した行政サービス 18.1%	歴史的環境の保全 14.9%	中心市街地の基盤整備と活性化 14.4%
【性別・年代別】						
男性 n=593		観光による地域振興 25.0%	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 21.4%	インターネットを活用した行政サービス 17.5%	歴史的環境の保全 15.0%	中心市街地の基盤整備と活性化 15.0%
男性_18・19歳 n=4		観光による地域振興 50.0%	インターネットを活用した行政サービス/歴史的環境の保全/中心市街地の基盤整備と活性化/保育所・幼稚園・認定こども園 25.0%			
男性_20歳代 n=67		観光による地域振興 26.9%	インターネットを活用した行政サービス 23.9%	歴史的環境の保全/中心市街地の基盤整備と活性化/道路、交通網の整備 14.9%		
男性_30歳代 n=85		インターネットを活用した行政サービス 21.2%	観光による地域振興 20.0%	歴史的環境の保全 17.6%	保育所・幼稚園・認定こども園 15.3%	中心市街地の基盤整備と活性化/道路、交通網の整備 12.9%
男性_40歳代 n=121		観光による地域振興 30.6%	インターネットを活用した行政サービス 19.8%	歴史的環境の保全/道路、交通網の整備 19.0%		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 16.5%
男性_50歳代 n=95		観光による地域振興 23.2%	歴史的環境の保全 21.1%	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 20.0%	中心市街地の基盤整備と活性化 17.9%	インターネットを活用した行政サービス 15.8%
男性_60歳代 n=101		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 29.7%	観光による地域振興 25.7%	インターネットを活用した行政サービス 19.8%	中心市街地の基盤整備と活性化 16.8%	歴史的環境の保全 14.9%
男性_70歳以上 n=118		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 33.9%	観光による地域振興 21.2%	歴史的環境の保全/中心市街地の基盤整備と活性化 16.1%		市の行政に対する情報提供 14.4%
女性 n=874		観光による地域振興 24.5%	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 22.4%	インターネットを活用した行政サービス 18.9%	中心市街地の基盤整備と活性化 14.3%	歴史的環境の保全 13.4%
女性_18・19歳 n=13		インターネットを活用した行政サービス 38.5%	観光による地域振興/歴史的環境の保全/道路、交通網の整備 30.8%		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実/中心市街地の基盤整備と活性化/学校教育の内容・施設・環境の整備 15.4%	
女性_20歳代 n=109		観光による地域振興 28.4%	インターネットを活用した行政サービス 22.9%	中心市街地の基盤整備と活性化 17.4%	歴史的環境の保全 13.8%	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 9.2%
女性_30歳代 n=160		観光による地域振興 28.8%	インターネットを活用した行政サービス 19.4%	保育所・幼稚園・認定こども園 16.3%	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 12.5%	歴史的環境の保全 11.9%
女性_40歳代 n=171		観光による地域振興/葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 24.6%		インターネットを活用した行政サービス 23.4%	保育所・幼稚園・認定こども園 15.8%	中心市街地の基盤整備と活性化 14.6%
女性_50歳代 n=110		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 29.1%	観光による地域振興 26.4%	インターネットを活用した行政サービス 25.5%	歴史的環境の保全/中心市街地の基盤整備と活性化 17.3%	
女性_60歳代 n=137		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 28.5%	観光による地域振興 22.6%	中心市街地の基盤整備と活性化 18.2%	インターネットを活用した行政サービス 14.6%	歴史的環境の保全 11.7%
女性_70歳以上 n=172		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実 29.7%	観光による地域振興 18.0%	歴史的環境の保全 13.4%	中心市街地の基盤整備と活性化/河川・水路の改良整備/市の行政に対する情報提供 10.5%	

■力を入れるべき施策

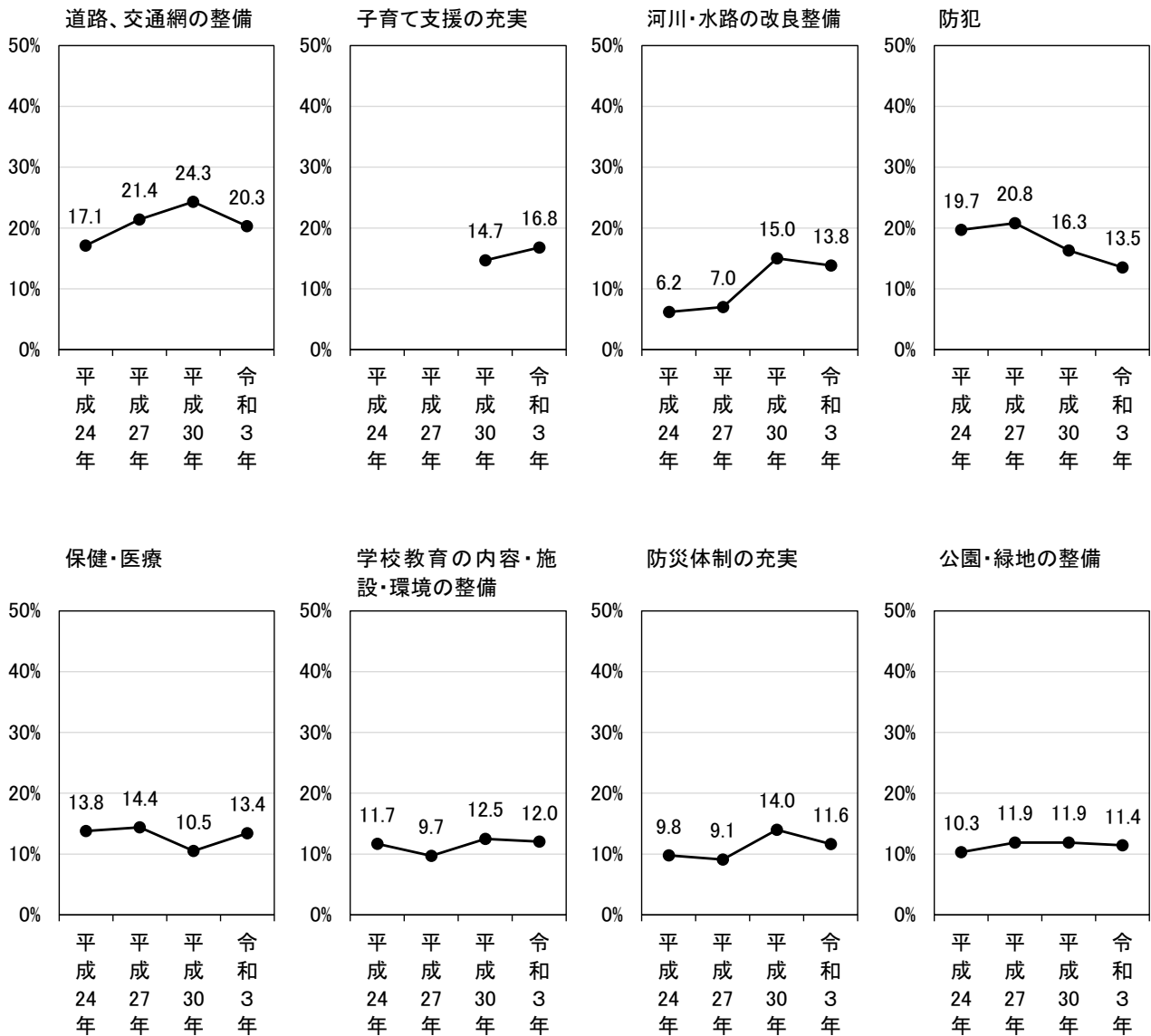
力を入れるべき施策については、「道路、交通網の整備」が20.3%で最も高く、次いで「子育て支援の充実」が16.8%、「河川・水路の改良整備」が13.8%、「防犯」が13.5%となっている。



■時系列での比較（上位8項目）

上位8項目を時系列で見ると、「子育て支援の充実」は増加傾向である一方、「防犯」は減少傾向となっている。

「道路、交通網の整備」は平成30年まで増加傾向であったものの、令和3年には減少傾向に転じている。



※「子育て支援の充実」は、平成30年から追加された選択肢。

■居住地区別（上位5位）

居住地区別に上位5位の項目をみると、「道路、交通網の整備」が1位となっている居住地区が多く、『芳野地区』、『南古谷地区』、『高階地区』、『福原地区』、『霞ヶ関地区』、『霞ヶ関北地区』の6地区で1位となっている。

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,496		道路、交通網の整備	子育て支援の充実	河川・水路の改良整備	防犯	保健・医療
		20.3%	16.8%	13.8%	13.5%	13.4%
【居住地区別】						
本庁地区 n=316		子育て支援の充実	道路、交通網の整備	防犯／保健・医療		インターネットを活用した行政サービス
		18.4%	16.8%	15.8%		13.9%
芳野地区 n=41		道路、交通網の整備／防犯		交通安全／就労の支援		保育所・幼稚園・認定こども園／周辺地域の基盤整備と活性化／農業振興
		24.4%		14.6%		12.2%
古谷地区 n=58		河川・水路の改良整備	保健・医療	道路、交通網の整備／周辺地域の基盤整備と活性化		防災体制の充実
		22.4%	20.7%	17.2%		13.8%
南古谷地区 n=135		道路、交通網の整備	河川・水路の改良整備	保健・医療	公園・緑地の整備	防犯／防災体制の充実
		23.0%	22.2%	16.3%	14.8%	12.6%
高階地区 n=189		道路、交通網の整備	河川・水路の改良整備	子育て支援の充実／防犯		公園・緑地の整備
		24.3%	17.5%	14.8%		11.6%
福原地区 n=78		道路、交通網の整備	子育て支援の充実	学校教育の内容・施設・環境の整備	保健・医療	公園・緑地の整備／保育所・幼稚園・認定こども園
		25.6%	24.4%	19.2%	17.9%	15.4%
大東地区 n=139		子育て支援の充実	道路、交通網の整備	防犯／公園・緑地の整備		学校教育の内容・施設・環境の整備
		21.6%	18.0%	15.8%		12.9%
霞ヶ関地区 n=175		道路、交通網の整備	子育て支援の充実	社会福祉	防犯	保健・医療
		23.4%	18.9%	15.4%	12.6%	11.4%
川鶴地区 n=75		子育て支援の充実	社会福祉	道路、交通網の整備	保健・医療／防災体制の充実／地球温暖化対策の推進	
		25.3%	14.7%	13.3%	12.0%	
霞ヶ関北地区 n=48		道路、交通網の整備	インターネットを活用した行政サービス	防災体制の充実	保健・医療／就労の支援／消防・救急体制の整備	
		25.0%	20.8%	16.7%	14.6%	
名細地区 n=100		河川・水路の改良整備	子育て支援の充実	防災体制の充実	道路、交通網の整備／学校教育の内容・施設・環境の整備	
		18.0%	17.0%	16.0%	15.0%	
山田地区 n=77		河川・水路の改良整備	道路、交通網の整備	学校教育の内容・施設・環境の整備	防災体制の充実	防犯／交通安全
		28.6%	27.3%	20.8%	18.2%	14.3%

■性別・年代別（上位5位）

性別・年代別に上位5位の項目をみると、「道路、交通網の整備」が1位となっている年代が多く、男性20歳代、男性50歳代、男性60歳代、女性の50歳代から70歳以上で1位となっている。また、「子育て支援の充実」では、男性30歳代、男性40歳代、女性20歳代、女性30歳代で1位となっている。

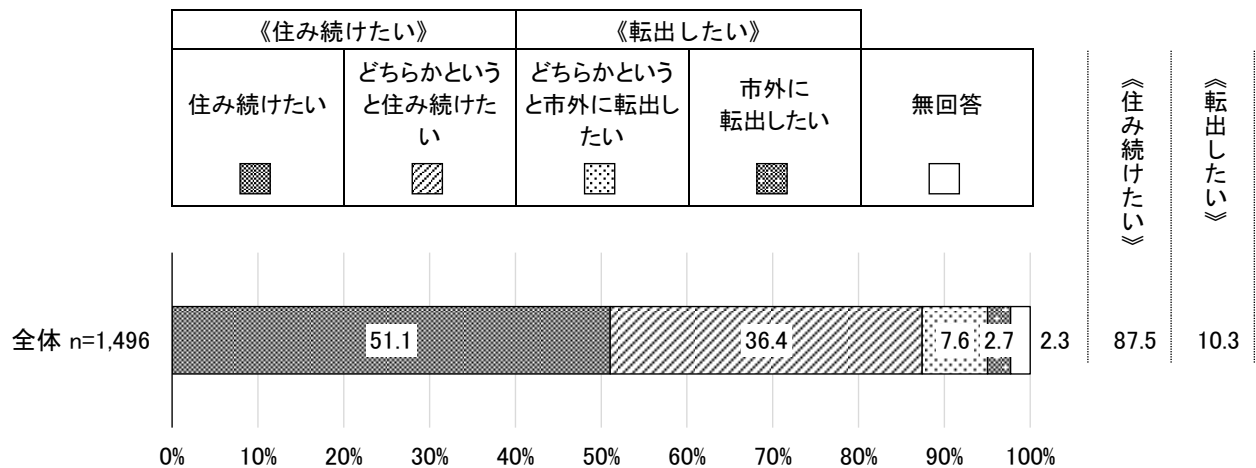
属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,496		道路、交通網の整備 20.3%	子育て支援の充実 16.8%	河川・水路の改良整備 13.8%	防犯 13.5%	保健・医療 13.4%
【性別・年代別】						
男性 n=593		道路、交通網の整備 20.1%	子育て支援の充実 16.4%	河川・水路の改良整備 16.2%	インターネットを活用した行政サービス 14.0%	保健・医療 12.8%
男性_18・19歳 n=4		道路、交通網の整備／学校教育の内容・施設・環境の整備／防災体制の充実／社会福祉／交通安全／土地利用（用途地域の見直しなど）／観光による地域振興／市の行政に対する情報提供／中心市街地の基盤整備と活性化 25.0%				
男性_20歳代 n=67		道路、交通網の整備 29.9%	インターネットを活用した行政サービス 19.4%	就労の支援 17.9%	子育て支援の充実／防犯 16.4%	
男性_30歳代 n=85		子育て支援の充実 36.5%	道路、交通網の整備 17.6%	河川・水路の改良整備 16.5%	インターネットを活用した行政サービス／保育所・幼稚園・認定こども園 15.3%	
男性_40歳代 n=121		子育て支援の充実 21.5%	インターネットを活用した行政サービス 18.2%	河川・水路の改良整備 17.4%	道路、交通網の整備 15.7%	保健・医療 14.0%
男性_50歳代 n=95		道路、交通網の整備 24.2%	防犯 17.9%	インターネットを活用した行政サービス 13.7%	河川・水路の改良整備／行財政改革の推進 12.6%	
男性_60歳代 n=101		道路、交通網の整備 19.8%	周辺地域の基盤整備と活性化 16.8%	社会福祉 15.8%	防災体制の充実／公園・緑地の整備 14.9%	
男性_70歳以上 n=118		河川・水路の改良整備 22.9%	道路、交通網の整備 17.8%	保健・医療／防災体制の充実／地球温暖化対策の推進 15.3%		
女性 n=874		道路、交通網の整備 20.5%	子育て支援の充実 17.4%	防犯／学校教育の内容・施設・環境の整備 14.5%	保健・医療 13.8%	
女性_18・19歳 n=13		学校教育の内容・施設・環境の整備／防災体制の充実 23.1%			保健・医療／公園・緑地の整備／社会福祉／就労の支援／地球温暖化対策の推進／下水道整備／周辺地域の基盤整備と活性化／自然環境の保全／文化・スポーツ活動の振興／社会教育の充実 15.4%	
女性_20歳代 n=109		子育て支援の充実 26.6%	防犯 21.1%	道路、交通網の整備／保育所・幼稚園・認定こども園 16.5%		保健・医療 13.8%
女性_30歳代 n=160		子育て支援の充実 35.0%	道路、交通網の整備 25.0%	学校教育の内容・施設・環境の整備 19.4%	保育所・幼稚園・認定こども園 16.9%	保健・医療 15.0%
女性_40歳代 n=171		学校教育の内容・施設・環境の整備 24.6%	道路、交通網の整備 19.3%	子育て支援の充実 18.7%	防犯 15.8%	河川・水路の改良整備／公園・緑地の整備 14.0%
女性_50歳代 n=110		道路、交通網の整備 23.6%	保健・医療 20.0%	防犯 18.2%	社会福祉 16.4%	地球温暖化対策の推進 12.7%
女性_60歳代 n=137		道路、交通網の整備 19.0%	河川・水路の改良整備／保健・医療 14.6%		公園・緑地の整備 13.4%	地球温暖化対策の推進 12.2%
女性_70歳以上 n=172		道路、交通網の整備 20.9%	河川・水路の改良整備／防災体制の充実 15.7%		公園・緑地の整備 13.4%	地球温暖化対策の推進 12.2%

(16) 川越市への定住意向

◇ 《住み続けたい》が87.5%

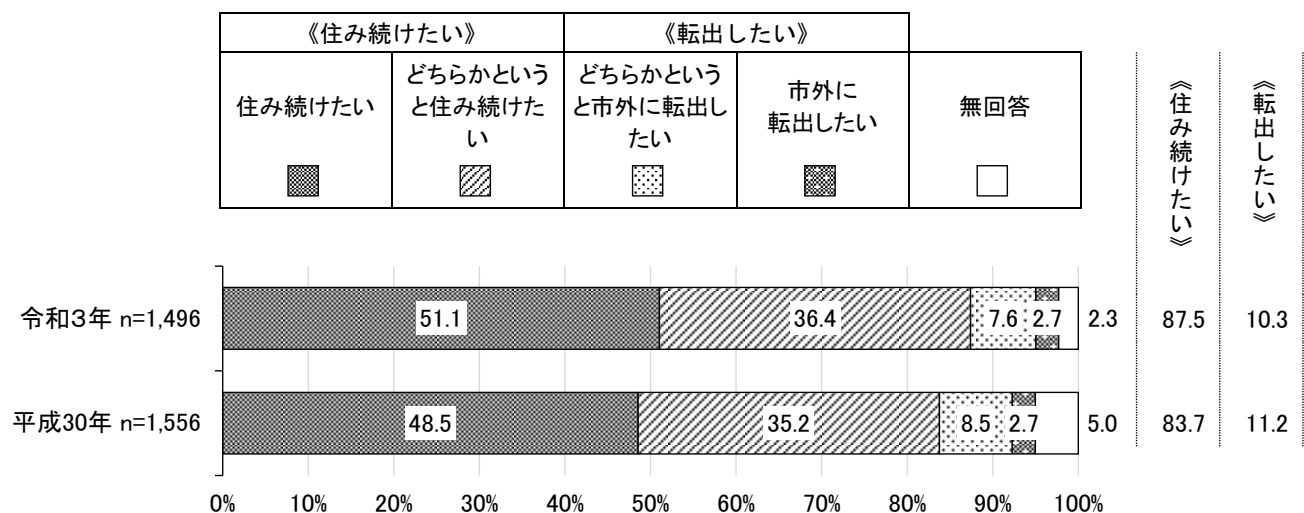
問 67 あなたは、これからもずっと川越市に住み続けたいと思いますか。それともよそに移りたいと思いますか。(1つのみ)

川越市への定住意向については、「住み続けたい」、「どちらかというに住み続けたい」の合計値《住み続けたい》が87.5%である一方、「どちらかという和市外に転出したい」、「市外に転出したい」の合計値《転出したい》は10.3%と、《住み続けたい》が77.2ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《住み続けたい》は前回調査より3.8ポイント増加し、《転出したい》は0.9ポイント減少している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、《住み続けたい》は女性70歳以上で9割半ばと高くなっている。一方で、《転出したい》は女性20歳代で2割を超えて高くなっている。

単位:%	《住み続けたい》		《転出したい》		無回答	《住み続けたい》 合計値	《転出したい》 合計値
	住み続けたい	どちらかという と住み続けたい	どちらかという と市外に転出したい	市外に転出したい			
全体 n=1,496	51.1	36.4	7.6	2.7	2.3	87.5	10.3
【性別・年代別】							
男性 n=593	53.5	37.1	6.1	2.2	1.2	90.6	8.3
男性_18・19歳 n=4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0
男性_20歳代 n=67	40.3	44.8	7.5	7.5	0.0	85.1	15.0
男性_30歳代 n=85	43.5	42.4	10.6	3.5	0.0	85.9	14.1
男性_40歳代 n=121	47.9	45.5	6.6	0.0	0.0	93.4	6.6
男性_50歳代 n=95	65.3	26.3	6.3	1.1	1.1	91.6	7.4
男性_60歳代 n=101	58.4	32.7	5.0	1.0	3.0	91.1	6.0
男性_70歳以上 n=118	61.0	32.2	1.7	2.5	2.5	93.2	4.2
女性 n=874	49.8	36.3	8.7	3.1	2.2	86.1	11.8
女性_18・19歳 n=13	69.2	23.1	7.7	0.0	0.0	92.3	7.7
女性_20歳代 n=109	29.4	47.7	14.7	7.3	0.9	77.1	22.0
女性_30歳代 n=160	35.0	46.9	13.8	3.1	1.3	81.9	16.9
女性_40歳代 n=171	46.8	38.6	9.9	2.3	2.3	85.4	12.2
女性_50歳代 n=110	48.2	34.5	9.1	5.5	2.7	82.7	14.6
女性_60歳代 n=137	60.6	30.7	5.1	0.7	2.9	91.3	5.8
女性_70歳以上 n=172	70.3	23.8	1.7	1.7	2.3	94.1	3.4

■ 居住地区別

居住地区別でみると、《住み続けたい》は『霞ヶ関北地区』が91.7%で最も高く、次いで『名細地区』が91.0%、『本庁地区』が90.5%となっている。一方で、《転出したい》は『古谷地区』が17.2%で最も高く、次いで『福原地区』が12.9%、『大東地区』が11.5%となっている。

単位：%	《住み続けたい》		《転出したい》		無回答	《住み続けたい》 合計値	《転出したい》 合計値
	住み続けたい	どちらかという と住み続けたい	どちらかという と市外に転出したい	市外に転出したい			
全体 n=1,496	51.1	36.4	7.6	2.7	2.3	87.5	10.3
【居住地区別】							
本庁地区 n=316	58.9	31.6	6.0	2.2	1.3	90.5	8.2
芳野地区 n=41	46.3	43.9	7.3	2.4	0.0	90.2	9.7
古谷地区 n=58	48.3	32.8	10.3	6.9	1.7	81.1	17.2
南古谷地区 n=135	48.9	37.8	6.7	3.7	3.0	86.7	10.4
高階地区 n=189	45.5	42.9	7.4	2.6	1.6	88.4	10.0
福原地区 n=78	51.3	34.6	10.3	2.6	1.3	85.9	12.9
大東地区 n=139	50.4	36.7	7.9	3.6	1.4	87.1	11.5
霞ヶ関地区 n=175	52.0	33.7	9.7	1.1	3.4	85.7	10.8
川鶴地区 n=75	54.7	34.7	6.7	4.0	0.0	89.4	10.7
霞ヶ関北地区 n=48	52.1	39.6	4.2	2.1	2.1	91.7	6.3
名細地区 n=100	48.0	43.0	8.0	1.0	0.0	91.0	9.0
山田地区 n=77	53.2	33.8	7.8	2.6	2.6	87.0	10.4

(17) 住み続けたいと思う理由

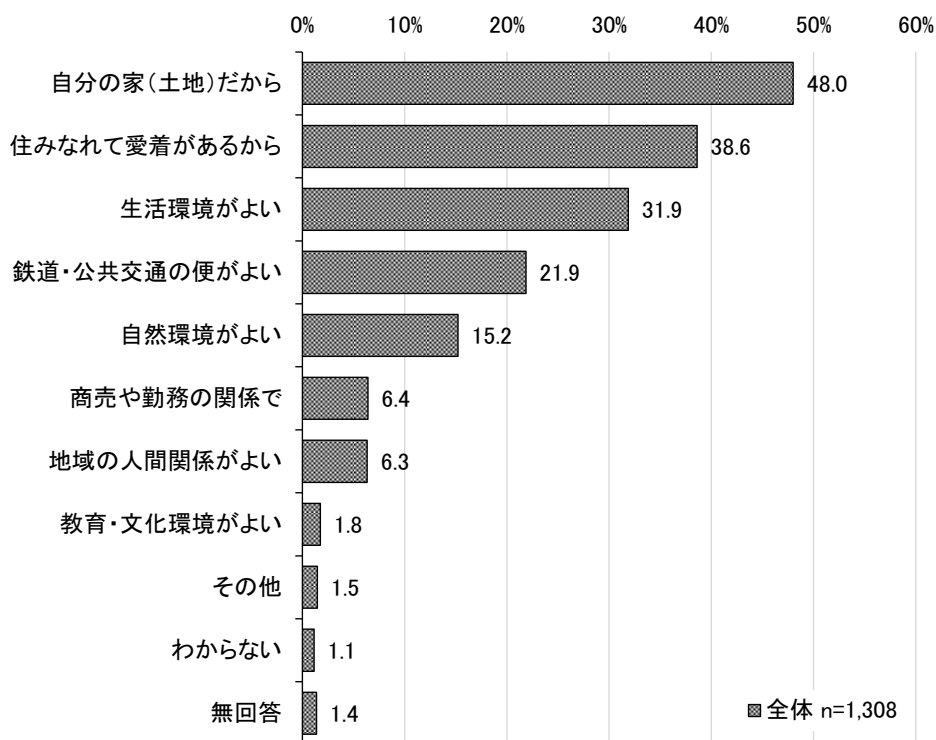
◇「自分の家（土地）だから」が48.0%

【問 67 で「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と回答した方におたずねします。】

問 67-1 川越市に住み続けたいというのは、特にどのような理由からですか。

次の中から2つ以内で選んでください。（2つまで）

住み続けたいと思う理由については、「自分の家（土地）だから」が48.0%で最も高く、次いで「住みなれて愛着があるから」が38.6%、「生活環境がよい」が31.9%、「鉄道・公共交通の便がよい」が21.9%となっている。



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別でみると、「自分の家（土地）だから」は男性60歳代で6割半ばと高くなっている。「住みなれて愛着があるから」は男性20歳代で約5割と高くなっている。

	自分の家(土地)だから	住みなれて愛着があるから	生活環境がよい	鉄道・公共交通の便がよい	自然環境がよい	商売や勤務の関係で
単位: %						
全体 n=1,308	48.0	38.6	31.9	21.9	15.2	6.4
【性別・年代別】						
男性 n=537	53.4	38.4	33.3	22.0	14.3	7.1
男性 18・19歳 n=3	66.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
男性 20歳代 n=57	24.6	49.1	36.8	31.6	12.3	3.5
男性 30歳代 n=73	50.7	34.2	31.5	20.5	8.2	15.1
男性 40歳代 n=113	55.8	44.2	34.5	15.9	4.4	11.5
男性 50歳代 n=87	55.2	31.0	33.3	24.1	20.7	10.3
男性 60歳代 n=92	64.1	33.7	34.8	21.7	18.5	1.1
男性 70歳以上 n=110	56.4	39.1	31.8	21.8	21.8	1.8
女性 n=752	44.4	39.2	31.4	22.2	16.1	6.1
女性 18・19歳 n=12	0.0	50.0	25.0	41.7	33.3	8.3
女性 20歳代 n=84	23.8	44.0	36.9	28.6	9.5	8.3
女性 30歳代 n=131	36.6	32.8	35.1	26.7	13.0	10.7
女性 40歳代 n=146	45.9	39.0	30.1	17.1	11.0	11.0
女性 50歳代 n=91	44.0	39.6	33.0	20.9	17.6	3.3
女性 60歳代 n=125	54.4	36.8	34.4	20.0	17.6	0.8
女性 70歳以上 n=162	55.6	43.2	24.1	21.0	23.5	2.5

■居住地区別（上位6項目）

上位6項目を居住地区別でみると、「自分の家（土地）だから」では、『霞ヶ関北地区』が61.4%で最も高く、次いで『南古谷地区』が59.8%、『古谷地区』が59.6%となっている。「生活環境が良い」では、『霞ヶ関北地区』が43.2%で最も高く、次いで『本庁地区』が41.3%、『川鶴地区』が38.8%となっている。

	自分の家(土地)だから	住みなれて愛着があるから	生活環境がよい	鉄道・公共交通の便がよい	自然環境がよい	商売や勤務の関係で
単位: %						
全体 n=1,308	48.0	38.6	31.9	21.9	15.2	6.4
【居住地区別】						
本庁地区 n=286	39.2	36.4	41.3	40.2	8.7	5.9
芳野地区 n=37	54.1	51.4	8.1	2.7	16.2	8.1
古谷地区 n=47	59.6	40.4	14.9	6.4	29.8	4.3
南古谷地区 n=117	59.8	34.2	31.6	12.8	24.8	4.3
高階地区 n=167	40.7	41.3	35.3	20.4	13.8	7.8
福原地区 n=67	53.7	47.8	22.4	16.4	17.9	6.0
大東地区 n=121	57.0	33.9	24.8	19.8	14.9	9.1
霞ヶ関地区 n=150	43.3	46.7	37.3	22.0	15.3	8.0
川鶴地区 n=67	52.2	31.3	38.8	11.9	23.9	3.0
霞ヶ関北地区 n=44	61.4	34.1	43.2	11.4	11.4	0.0
名細地区 n=91	58.2	39.6	23.1	18.7	14.3	3.3
山田地区 n=67	47.8	46.3	20.9	17.9	11.9	11.9

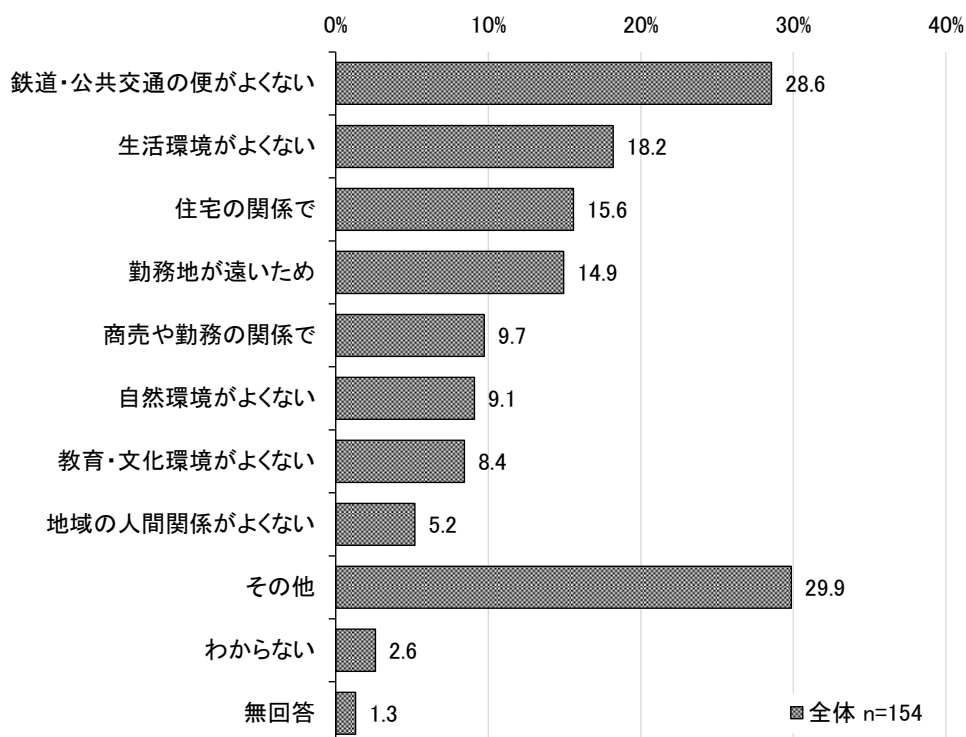
(18) 転居したいと思う理由

◇「鉄道・公共交通の便がよくない」が28.6%

【問 67 で「どちらかというとし外に転出したい」「市外に転出したい」と回答した方におたずねします。】

問 67-2 市外へ移りたいというのは、特にどのような理由からですか。
次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで)

転居したいと思う理由については、「鉄道・公共交通の便がよくない」が28.6%で最も高く、次いで「生活環境がよくない」が18.2%、「住宅の関係で」が15.6%、「勤務地が遠いため」が14.9%となっている。

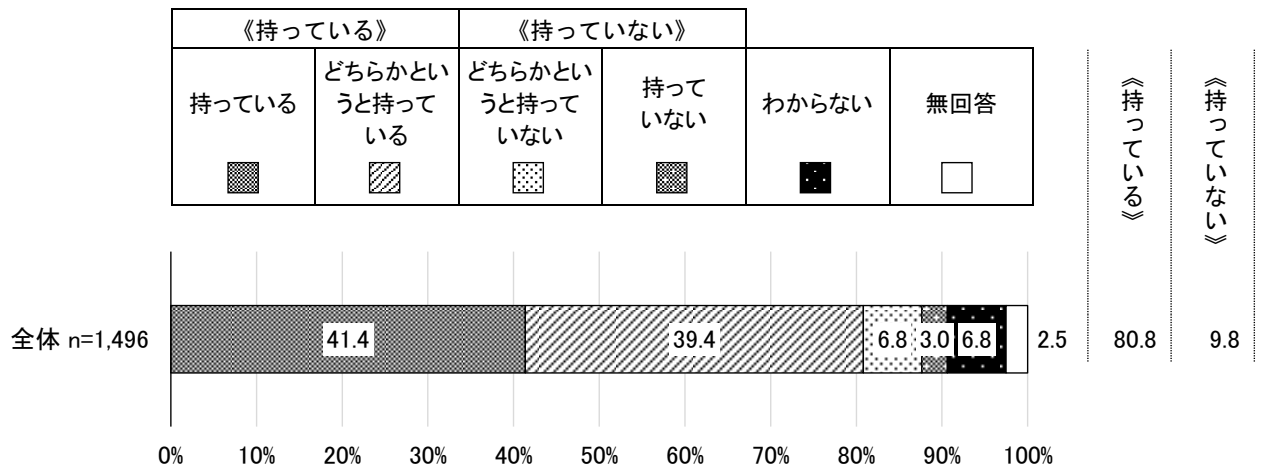


(19) 川越市への愛着

◇ 《持っている》が80.8%

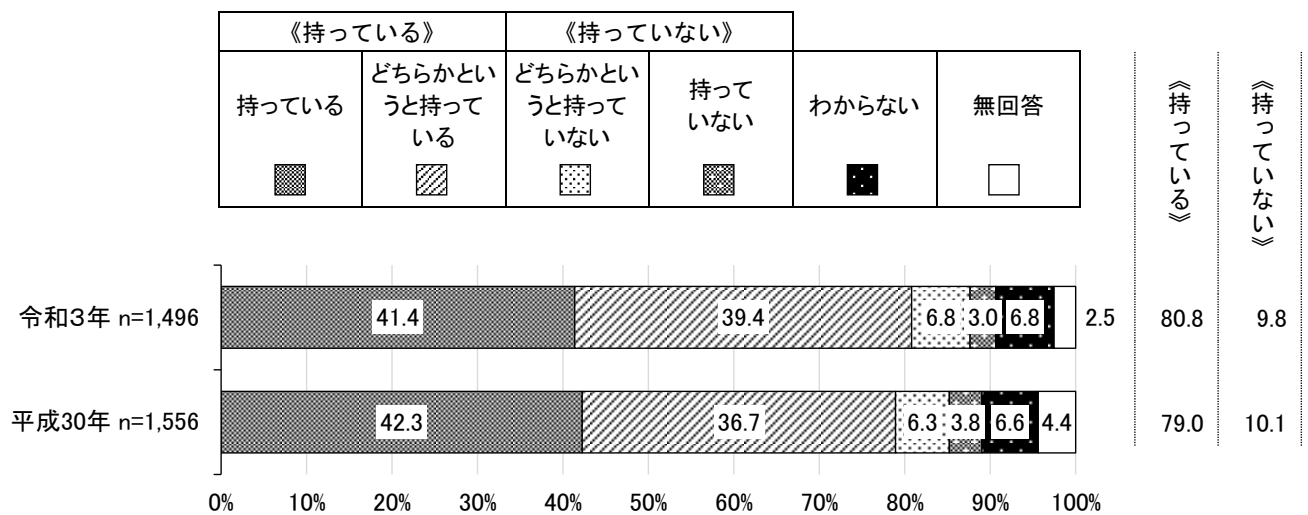
問 68 あなたは、川越市に愛着をお持ちですか。(1つのみ)

川越市への愛着については、「持っている」、「どちらかというを持っている」の合計値《持っている》は80.8%である一方、「どちらかというと持っていない」、「持っていない」の合計値《持っていない》は9.8%と、《持っている》が71.0ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《持っている》は前回調査より1.8ポイント増加し、《持っていない》は0.3ポイント減少している。



■性別・年代別

性別・年代別でみると、《持っている》は男性70歳以上、女性70歳以上で9割台と高くなっている。一方で、《持っていない》は女性30歳代で2割と高くなっている。

単位:%	《持っている》		《持っていない》		わからない	無回答	《持っている》 合計値	《持っていない》 合計値
	持っている	どちらかという と持っている	どちらかという と持っていない	持っていない				
全体 n=1,496	41.4	39.4	6.8	3.0	6.8	2.5	80.8	9.8
【性別・年代別】								
男性 n=593	43.8	40.0	6.7	2.0	6.4	1.0	83.8	8.7
男性_18・19歳 n=4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
男性_20歳代 n=67	32.8	46.3	9.0	4.5	7.5	0.0	79.1	13.5
男性_30歳代 n=85	35.3	47.1	7.1	2.4	5.9	2.4	82.4	9.5
男性_40歳代 n=121	43.8	33.1	11.6	4.1	5.8	1.7	76.9	15.7
男性_50歳代 n=95	42.1	44.2	4.2	1.1	7.4	1.1	86.3	5.3
男性_60歳代 n=101	40.6	44.6	5.9	1.0	7.9	0.0	85.2	6.9
男性_70歳以上 n=118	61.9	28.8	3.4	0.0	5.1	0.8	90.7	3.4
女性 n=874	40.6	39.6	7.1	3.8	7.2	1.7	80.2	10.9
女性_18・19歳 n=13	69.2	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
女性_20歳代 n=109	32.1	46.8	7.3	4.6	5.5	3.7	78.9	11.9
女性_30歳代 n=160	28.8	38.8	14.4	5.6	11.3	1.3	67.6	20.0
女性_40歳代 n=171	35.1	45.6	7.6	2.9	8.2	0.6	80.7	10.5
女性_50歳代 n=110	44.5	34.5	5.5	6.4	7.3	1.8	79.0	11.9
女性_60歳代 n=137	40.1	40.1	4.4	3.6	8.0	3.6	80.2	8.0
女性_70歳以上 n=172	58.1	33.1	3.5	1.2	3.5	0.6	91.2	4.7

■居住地区別

居住地区別でみると、《持っている》は『南古谷地区』が85.9%で最も高く、次いで『本庁地区』が85.5%、『川鶴地区』が85.3%となっている。一方で、《持っていない》は『古谷地区』、『名細地区』がともに12.0%で最も高く、次いで『山田地区』が11.7%、『高階地区』が11.6%となっている。

単位:%	《持っている》		《持っていない》		わからない	無回答	《持っている》 合計値	《持っていない》 合計値
	持っている	どちらかという と持っている	どちらかという と持っていない	持っていない				
全体 n=1,496	41.4	39.4	6.8	3.0	6.8	2.5	80.8	9.8
【居住地区別】								
本庁地区 n=316	49.7	35.8	7.3	2.5	3.8	0.9	85.5	9.8
芳野地区 n=41	39.0	43.9	2.4	0.0	12.2	2.4	82.9	2.4
古谷地区 n=58	43.1	39.7	3.4	8.6	3.4	1.7	82.8	12.0
南古谷地区 n=135	37.8	48.1	3.0	2.2	7.4	1.5	85.9	5.2
高階地区 n=189	37.6	41.8	9.5	2.1	6.9	2.1	79.4	11.6
福原地区 n=78	39.7	34.6	7.7	3.8	14.1	0.0	74.3	11.5
大東地区 n=139	35.3	43.9	8.6	2.2	8.6	1.4	79.2	10.8
霞ヶ関地区 n=175	42.9	41.7	6.9	4.0	3.4	1.1	84.6	10.9
川鶴地区 n=75	52.0	33.3	5.3	1.3	6.7	1.3	85.3	6.6
霞ヶ関北地区 n=48	33.3	45.8	4.2	0.0	10.4	6.3	79.1	4.2
名細地区 n=100	41.0	39.0	9.0	3.0	8.0	0.0	80.0	12.0
山田地区 n=77	44.2	33.8	6.5	5.2	5.2	5.2	78.0	11.7

(20) 希望する市税納付方法

◇「コンビニエンス・ストア」が42.4%

問 69 あなたが市税(国民健康保険税を含む)を納める方法として希望するのは次のどれですか。次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで)

希望する市税納付方法については、「コンビニエンス・ストア」が42.4%で最も高く、次いで「口座振替」が41.2%、「金融機関及びゆうちょ銀行・郵便局の窓口」が32.0%、「インターネット(パソコン・スマートフォン等を使用)を利用したクレジットカードによる納付」が20.5%となっている。

